

## 第6章 自由記入

### (1) 問 29 緑区の福祉保健のために、10年後も大切だと思うこと

全回答者のうち、37.9%に記載があった。地域福祉保健計画の柱立てにそって、関連する意見をまとめる。(複数の内容にわたる記述があり、それぞれに分類しているので、以下の意見の総数は、回答の総数には一致しない)

なお、まちづくり整備に関することも、ここでは地域福祉保健計画の柱立てにそって分類した。

#### 1 「つながりのあるまちづくり」に関連する意見

(つながり)

つながり	高齢化が進むので、今まで以上に「地域のつながりのあるまちづくり」が大切だと思います。
つながり	大人も子どもも会った時にあいさつする事！ 体調が悪そうな年配者を見たら、すぐどこでも声をかけてあげる事！
つながり	地域で孤立する人がなくなるような取り組み、年をとっても楽しいことに出会えるような場づくり（もちろん無料もしくは格安で）、住む人それぞれが役割を感じられること。
つながり	少子高齢化が進む中で、何かの災害や犯罪があった時に、自分の家族も含めて、地域の連携が取れることが大切。
つながり	活動は地元の方達が主で、他地域からの流入者との間にギャップがあると思います。ベッドタウン民族を地区に根づかせるために何をすべきかもっと考えた方がよいと思います。
つながり	緑区は農地も有るし、マンション群も有る。よくいえばバラエティに富んでいると言えるが、悪く言えば、全くまとまりがない気がする。流入して来たマンション族と3世代の住民とが交流できる機会を増やし、活気のある緑区、魅力の有る緑区でいけば、10年後も住み続け、栄えていけるのでは？
つながり	あいさつ
つながり	近隣との交際、交流
つながり	地域での人のつながり
つながり	地域や近所の方達との交流が必要と思う。
つながり 次世代	シニアの問題も大切ですが、これからの子どもたち（小中学生の給食費無料化とか） 出産したくても保育園等の事でやめている人達の事、そちらをもう少し考えるべきであると思う。
つながり	「個」から「絆」の街づくり（人と人とのつながりがある街）
つながり	大雪が降った時、近所の皆さんで助け合って雪かきできて楽しかったです。いざという時、動ける人が動けるだけできるといいと思いました。
つながり	自治会等を通して近隣住民とのコミュニケーションが取りやすい環境づくりのための支援活動。
つながり	四季の森での朝の挨拶が町内でも広がればよい。
つながり	近所の皆さんが集まって顔を知れるようなイベントを増やしたほうがいい。（餅つき、夏祭り等）
つながり	近所の助け合い精神
つながり	地域での連携。自分の役割。
つながり	地域でいざ助け合いが必要になった時、地域力が問われると思います。普段、声かけができるような関係ができていなければ、分からないですが、「さろん（サロン）」的なものが必要になってくると思います。緑区内にもいくつかあるようですが、周知も難しいようで、民間の団体だけでは限界があります。行政もここにもっとつぎ込んでほしいです。

つながり	地域のイベントなどを続けていくこと。イベントを通して、地域とのつながりを作り、地元に着愛を持てるようになると思う。また、イベント等が無い地域は活気が感じられない。
つながり	地域とのつながりを持つことで安心して安全な街づくり。
つながり	個人情報大切に時代なので、ご近所の方に立ち入ったことを聞けないので、隣人の様子は全く分かりません。あいさつはしています。深いつながりは無理だと思います。でもきっと緊急時は助け合える関係性ではお互いありたいと思います。いい関係を築き続けていきたいです。いい方法が欲しいです。
つながり	住んでいる地域は地域密着性が強いと思います。衛生上、ごみも当番を決め管理しており、散らからないように心がけています。当番としてはいますが、気付いた人が片づけをし助け合う姿勢は気持ちが穏やかになり、自分もそうしようと思わされます。継続できたら素晴らしいと思います。また、治安も良好であってほしいので、学童など増やしたり、大人の目が届く場所に子どもを預け、安心した街づくりを期待しています。
つながり	学校と地域（自治会）との連携した催しを10年後も続けていてほしい。自治会、班単位でも活動を増やし、地域での人と人とのつながりを密にすることが大切だと思う。
つながり	隣近所でのつながり。安全、安心に住むことのできる緑区であること。
つながり	地方よりまだ低い高齢化率である横浜ですが、変貌の激しい街並みの中で、人の和が崩れている現状があると思う。身近な地域でのつながりの再生の為にも、子供からお年寄りまでの村的なコミュニケーションを作れば良いと思う。
つながり 健康	健康維持できる取組み。地域参加（交流の場、ボランティア活動など）
つながり	住民の連携
つながり	不快な思いをしない近所づきあい。
つながり	地域交流を深めるイベント
つながり	近所の人たちの声かけが大切だと思います。災害が多い時代なので、特に怪我という時に助け合える街づくりが必要だと思います。
つながり	地域での協力活動を進められるような取組みをすることが大切。
つながり	若年世代（夫婦、子供だけの世帯）と高齢者世帯（老人のみの世帯）とのつながり。お互いの世帯では（年齢的に）接点が無いため、お互いに協力し合える環境になると良いと思う。
つながり	地域のつながりが大切だと思います。小さな子供さんから高齢者の方まで、「あいさつ」から「顔見知り」になっていくのではないのでしょうか？そういう小さなことが大切だと思います。
つながり	近所の方々とのあいさつ。
つながり	子どもが学校へ通っている間は何となくですが地域との関わりに携わっている気がしますが、10年後、夫婦だけになった時、地域の情報や繋がりがなくなってしまうように感じています。仕事を持って、仕事に出ていると、なかなか地域との関わりが無いので・・・。日ごろのお付き合いや助け合いが大切なのかも。
つながり	孤独死を防ぐこと。地域での人と人とのつながりが持てること。
つながり	高齢の方々と若い世代が触れ合う場をもっと作ると良いと思います。例えば、子供たちとは、昔ながらの遊び、高度成長に至るまでの日本の様子を語ってもらう場。成人とは、家族の在り方、子育て論、生活の知恵、（風習やならわし）、おふくろの味を教える場。
つながり	コミュニケーションが鍵になってくると思います。今の自分たちの世代は、コミュニケーション不足がやはり問題だと思います。理由は高齢者や障がい者と関わる機会があまりなく、ましてや電車のマナーや行動に対して不信感を与えているのが現状ですが、勇気を出してお互いを理解しあえることが大切だと思います。
つながり 高齢化 次世代	子どもがのびのび育ち、遊べる自然、場所があること。高齢者が安全に生活できる街づくり。交流の場（お祭り、登下校時見守りなど）
つながり	地域と人のつながりが継続、維持できることが大切だと思います。

つながり	情報交換と近所との交流を密にすること。
つながり	住民ができるだけ小さい単位で連携、活動し、それらが場のつながりで区から市などに繋がるよう、区の行政が場の提供と自主運営のお手伝いをして頂く関係。
つながり	人と人とのつながり。
つながり	お互いご近所にはどんな方がおられるのか、普段からつながりのあるお付き合いができることが必要と思います。
つながり	地域の中でお互いが支え合い、助け合うためのネットワークづくりが必要であり、行政と地域住民との連携を密にしていくことだと思う。
つながり	ボケないために人とのつながりが大切とおもっています。
つながり	いい地区なので住みやすい。霧が丘は好きです。人がいい地域です。親しみやすい人が多い、優しさがある。
つながり	自治会の友人、知人、お隣さんとのあいさつ、ふれあい
つながり	隣近所の声かけや挨拶など
つながり	安全、安心。10年後も100年後も声を掛け合う。
つながり	地域で孤立しない、つながりのある街づくり。住みやすい街と言えるような安全な街である事。
つながり	隣近所のつながり。
つながり	助け合い、声を掛け合う。近所とのかかわり方。
つながり	地域住民の交流。
つながり	周りへの気配り（あいさつ、声かけ）
つながり	地域のコミュニケーションづくりが大切である。輪が大切です。
つながり	近隣の方々と知り合い、日ごろからコミュニケーションを取れる関係づくり。
つながり	繋がりを大切に、いざという時は皆で助け合い、支え合うことが自然とできている街、環境に暮らしていることを幸せに感じながら、安心して生活していきたい。
つながり	ご近所の方とのつながりや助け合い。周りにどんな方が住まれているか知っておくだけで安心ですし、防犯に繋がると思います。
つながり 次世代	住んでいる地域は、昔から住んでいるお年寄りの方と、新しい住宅がたくさんできて、若い世帯がいる街だと思う。それぞれが協力し、街を活性化できるような取り組みがあればよいと思う。例えば、定年された方などが登下校のパトロール、子供たちが近所のお年寄りと遊んで交流など、気にかけるようにするなど。
つながり	人と人とのつながり。
つながり	人と人とのつながりをより築いていくこと。
つながり	今、自治会組織が肥大化していくように感じています。組織としての形はしっかりと完成してきていますが、それに比例して、個々の世帯への皆での目配り、心配りが薄くなって行きはしないでしょうか。何年たっても原点は「近くの他人」への優しさであろうと強く思います。
つながり	つながり。
つながり	現在の60代の人口が10年後には70～80代。1番多くなる。社会の背景で大切なのは、近所、街の人と人とのつながりだと思われまます。何かあった時、助け合える街づくりと、警察、病院への連携プレー、密接な助け合い運動を行うように考えます。
つながり	地域の防犯活動。地域の自治会、子供会、小中学校が連携し、あいさつ、声かけなど、縦のつながり、横のつながりを大切にする。
つながり	交流の場をもっと増やしてほしい。
つながり	笑顔で挨拶ができて、言葉を交わせることが先々、何かあった時に助け合えることになると思います。
つながり	転入してまだ半年ですので、あまり地域のことに詳しくありませんが、うわさに聞く話ですと、古くから住んでいる方のコミュニティに新しく来た人々が入っていけない雰囲気があるようです。先日の広島の大災害のように、突然の大災害が今起こった時、果たして近くの人たちと助け合えるのか不安です。自治会にも加入していますが、回覧と会費の支払いがあるくらいで、あまり交流はありません。もっと地域で支え合えるような仕組みになっていけばいいなと思います。

つながり	近所の人たちの顔が分かること。
つながり	助け合いの心をいつも大切に。
つながり	近隣の人との声かけ、助け合い。
つながり	市営の高齢者住宅に住んで10年以上になりますが、自治会の当番が回ってきます。何とか現在は支え合ってきましたが、若い人たちとの考え方の違いなどで、個々にみんなが悩んでいます。
つながり 高齢化	地域とのつながり、また、高齢者の雇用の場の拡大。
つながり	10年後もいつでも大切なのは、人と人との思いやり。思いやりを常に持っていれば、それが行動に出るし、取り組める。
つながり	自治会や老人クラブ、子ども会等が主体となった活動は特に大切だと思います。
つながり	人と人との絆を大切にしたい暮らしやすい街、町
つながり	向こう三軒両隣の和。
つながり	人のつながり。若い世代と高齢者が交流しやすい地域。
つながり	隣近所と仲良くお付き合いができ、何かあった時にはお互い声を掛け合って助け合える街づくり。
つながり	子どもから大人まで気軽に集まれる場やイベントがあり、あいさつが飛び交う環境づくり。
つながり	地域交流
つながり	今の自治会活動では不透明で、特定の人だけで運営されているように感じる。人と人とのつながりはとても大切だと思うので、自治会活動の在り方の見直しが必要。
つながり	つながりのある街づくり。
つながり	隣近所でも1日顔を合わさないという時が多いと聞きます。少なくとも近隣の人とあいさつや声かけができてることが大切だと思います。若い人たちで自治会等積極的に参加してくれる方には減税するとか、何かの形で優遇すれば、もっと関心が向いてくれる一つの方法かなと考えます。
つながり	地域では、70歳前後の世代と40歳前後の世代が多いが、あまり交流が無いのが現状である。災害時の助け合いや、地域の防犯上の観点から、世代間交流が必要と感じる。
つながり	交流。
つながり	高齢化する自治会組織の在り方。自治会入会率の向上策。
つながり	現状の実態に合わせた地区分け。人口が増加している地域や学区の変更などで、各自治会とのつながりも変更になっている。常に実態に合わせた計画を立ててほしい。(今までにとらわれることなく!)住んでいる町はいくつもの町内会に分かれており、地区をまとめてほしい。
つながり	隣近所とのつながりが災害時の助け合いの基本となると思います。
つながり	近所の方と交流があることが大切だと思います。
つながり	安心安全に暮らせるように、お互いに助け合いの気持ちをもって、ご近所の方とのお付き合いを大事にしたいと思っています。
つながり	気軽におしゃべりができる場があると良い。
つながり	下水溝掃除、公園掃除に定期的に参加しているが、実際にまともに清掃作業を行っている人は少なく、ただ形式的に参加し、知り合いとおしゃべりしている方々が多い。参加しないと白眼視されるとの思い込みで形だけ参加する且つ、事情で参加できない方を白眼視する。地域住民の意識改革こそが大切であると思われる。
つながり	地域の人とのつながり。
つながり	地域の連携(分からない、活動が見えない)
つながり	ご近所(自治会等)とのつながり。イベントを通して交流の機会が増え、心強く思う。集会所があれば、もっとその機会を増やせるだろう。次に(世代に)つなげていくことが大切。
つながり	人と人とのつながり、会話。
つながり	住民の和が大切だと思います。まずは声かけ運動から。
つながり	「つながり」のある街づくり。「安全、安心、健康」の街づくり。この強化。

つながり	地域で協力できる体制が何より重要であり、気軽に参加できるイベントや交流の中で話し合いができる場を作ってほしい。認知症キャラバメント研修を終了し、緑区の一員として啓発していきたい。
つながり	近隣同士の付き合いを今までより深めること。
つながり	マンションが多く、自分から意欲的に外に出て参加していかなければ、外部とのコミュニケーションが取りにくい環境であると思います。老人だけではなく、孤独を感じながら育児をしている方も多いのでは…ある種のおせっかい活動がしやすい街づくり、人と人との垣根の低い交流の計れる街の雰囲気作りと住民、商店街、周辺施設がまとまって考えていく仕組みを作っていけたらと思います。
つながり	互いに思いやりの心を少しでも厚くする。気軽に語り合える場はもっとあって良いのではないのでしょうか。
つながり	声かけ、情報の共有、各個人の意識の向上。
つながり	もし、災害でも起きた時、地域の人たちが助け合っていかなければいけないと思っています。そのためにも、日ごろ、お隣さんとの交流を深めていこうと思います。福祉活動の方面でも地域行事のイベント等の開催を多く作ってほしいです。
つながり	地域の人が交流しやすい環境づくり。
つながり	地域とのつながり。
つながり	ご近所で、福祉とは違いますが、自治会に参加せず、近所とも全く話もせず、庭はゴミだらけ、草も生え放題、でも、注意することもできず、どうしたらいいか分かりません。区とかの方が入り、調べてもらえればと思います。このような家が緑区でも結構あるのではないのでしょうか。
つながり	私の居住している自治会は、一部と思いますが、隣近所の方との人間関係はあまりよくない。昔からの居住者と新参者とのお付き合いはあまりない。このような状況下では、いざという時には、助け合うということはないような気がします。まず、基本的なことから変えていく必要があります。
つながり	緑区に住んで良かったと思えるつながりのある街であってほしい。
つながり	人がつながるイベントや公共施設の設置。
つながり 高齢化	10年後は今よりお年寄りが増えていると思います。一人住まいのお年寄りもすごく増えていると思います。孤独死ということも増えるかもしれません。自治会でいろいろとイベントをしたり、声をかけ合って、交流があればいいかと思います。
つながり	私の住む公団住宅は自治会がありません。自治会づくりのため公団に働きかけても、どういうわけか実現しません。役所から公団に働きかけて下さい。皆さん困っています。永年コミュニティがないのです。
つながり 情報	各自の意識も高める。世代間の交流、情報の共有。
つながり	安否確認の声かけ。
つながり	人と人とのつながり。
つながり	高齢化がもっと進み、住民同士の繋がりが、取りにくくなるような気がします。安否確認のよい方法など、地域で考えたほうが良いと思う。日常的に顔を合わせる機会などを作れると良いが。
つながり	何よりも、地域の人とのコミュニケーションが大切。
(次世代)	
次世代	高齢者の方も増えてくると思うので、20～30代の方が福祉にもっと興味を持つのが大事だと思います。
次世代	子どもは宝です。もっと今の大人がしっかりと、どの子ども、この子ども我が子のように声をかけ、決して子どもに優劣をつけずに温かい目で見守り、育てる。
次世代	私は今2人の子どもを育てています。いっぽうや地区センターが近くにあると助かっています。なので、10年後もそういう施設があるといいなあと思いました。
次世代	子育て支援

次世代	「10年後」を考えるのであれば、今の子どもたちに色々と教えるべき。皆で地域のゴミ拾いをする習慣とか、子どもとお年寄りを結ぶことで、コミュニケーション作りや優しさを覚えるなど。10年後の緑区に今の子どもたちは欠かせない。
次世代 つながり	地域や近所の方達との交流が必要と思う。 シニアの問題も大切ですが、これからの子どもたち（小中学生の給食費無料化とか）出産したくても保育園等の事でやめている人達の事、そちらをもう少し考えるべきであると思う。
次世代	小さな子供たちを持つ親として、ハーモニーみどりのプレイルームやはなまるを利用していますが、とても利用しやすいのでぜひ続けてほしい。
次世代	子どもが安全に暮らしていける。それをサポートするのは地域で行えたらいいと思う。
次世代	未来を担う子供たちが強く優しく育つような環境づくり。（あいさつ、礼儀・・・）
次世代 つながり 高齢化	子どもがのびのび育ち、遊べる自然、場所があること。高齢者が安全に生活できる街づくり。交流の場（お祭り、登下校時見守りなど）
次世代	地域で子供たちを守る。
次世代 高齢化	地域のつながりの維持。（高齢者が増えている）。若い方々に住んでもらえるような環境を増やして、高齢者と若い人とのバランスが適正になるようお願いしたい。
次世代	若年層の自治会加入。自治会の世代交代。
次世代	若い世代が希望を持ち、やりがいのある生活ができるような行政の支援。若い人の住みよい地域作り。
次世代 環境	子どもの教育と、環境の整備。
次世代 つながり	住んでいる地域は、昔から住んでいるお年寄りの方と、新しい住宅がたくさんできて、若い世帯がいる街だと思う。それぞれが協力し、街を活性化できるような取り組みがあればよいと思う。例えば、定年された方などが登下校のパトロール、子供たちが近所のお年寄りと遊んで交流など、気にかけるようにするなど。
次世代	子どもたちの安全な街になるようにしてほしい。歩道が狭く、ガードレールのない道もある。自転車とのすれ違いが危ない！高齢者が多く、近所に友達がいないので、若い人たちの住みやすい街になってほしい。
次世代	今現在、子供を産める場所が緑区内には無さすぎます。緑区内で子供を安心して産んでもらえる環境が大切だと思います。産科、小児科が無いと、妊婦さん家庭は区内からいなくなります。というより、人口流出になるのでは？
次世代	少子高齢化の対策。
次世代	子どもが安心、安全に暮らせる街づくり。保育所の充実、通学路の安全確保。
次世代	子育て支援（一過性ではなく、子育て世帯が継続的に住める環境づくり）
次世代 高齢化	独居老人に対する取組み、支援。支援を必要とする、高齢者への働きかけ。保育面で安定した場があり、安心して産み育てられる環境。
次世代	地域の活性化が大切だと思う。そのためには若い年代を増やす必要があり、子育て支援の充実など、若者にとって住みやすい街づくり、取組みが必要だと思う。
次世代 高齢化	高齢者の一人暮らしが増えてくると思うので、近所の方たちで安否確認がすぐできるようにしていくこと。乳幼児を安心して育てていけること。若い人たちが楽しく参加できる行事。
次世代	小学生までの発達障害者へのケアは十分あるが、中学生になったらほとんどなくなるので、継続してケアができるように、親子ともに頼れる場所や人がいるようにしてほしい。
次世代	子どもたちが楽しく健やかに成長できるような見守り、支えが必要だと思います。
次世代	母親の孤立化を防いでほしい。ネットによる小さい子の親へのバッシングが現在ひどい。以前2歳の子がぐずっているお母さんの荷物を持ってあげたら、うるさくてすみませんと泣かれてしまい、そのつもりでなかったのが驚いた。
次世代	子育てを一人で抱え込んでしまう親が一人でも減るように、困った時にすぐに相談ができる場所や人がいるということをお知らせする、分かりやすい広報や看板があるといい。

次世代	少子化に伴い、それに見合った施設や制度の活用がしやすいことを求めます。
次世代	子育て支援。無料の定期健診。年配の方がもっと気軽にボランティア活動に参加できるようにすれば働く親の負担が減ると思う。
次世代	今子育て真っ最中で、地区センターなどのプレイルームが必要な場所になっていて、よく利用しています。子育て中に友達と情報交換できる場所は、すごく大事だと思うので、これからも充実させていって欲しい。子供たちが（小学生）集まる場所としても安心できるので。
次世代	高齢化がますます進む中で、若い世代の支えが不可欠の為、「住みたい」と思える魅力的な街づくりが必要と思う。（商業施設の誘致やインフラ整備等）
次世代	子どもへの福祉の充実。
次世代	子育てに関して支援。
次世代	子どもが安全に暮らせる街づくり。地域のネットワークを強化し、何かの時に支え合えるようにする。
次世代	高齢者の方が多くなっていくと思うので、その方たちを支える世代や、さらに次世代の子どもたちが過ごしやすい設備やイベントの実施。新しいマンションやグリーンタウン改築などの建設で、若い世代が住みやすい環境。
次世代	高齢化が進んで行く中で、若者に負担がかかります。個人としての生活力も大事になってくるのでしょうか。
次世代	高齢の方が増加していく中で、どれだけ若い世代家族の方たちと交流の場を広めて、意識して関わりを持つことができるか。例えば、幼稚園ママ世代にも働きかけをして助け合いの意識を早くから持ってもらおう。
次世代	10年後の社会を支えていく現在の児童、生徒たちに福祉保健の重要性をきちんと伝えるべきだと考えます。学校教育などでも、積極的に取り入れてほしい。彼らが社会の中心となって活動するときに、それらが生かされることを望みます。
次世代	教育、子育て支援。

## 2 「ひとりひとりの力が発揮できるまちづくり」に関連する意見

### （ボランティア）

ボランティア 高齢化	ボランティア活動についての仕組みづくりと周知、広報。高齢者の活性化。高齢者の力（時間）の有効活用を！（いずれ高齢者は他の人々のお世話になるわけですから、元気なうちに世話を手伝うようにさせる）
ボランティア	川崎市のボランティアに不定期で参加しています。ボランティアには積極的ではないタイプですが、友人（60代）に誘われました。大切なのは継続する人材育成かと思えます。主婦は子育てや介護と、夫が定年するまではあまり自由が無いので、一時的な体験、頼れる先輩に学び、いつか参加できる時期が来たらと考えています。もし利用者側になった時にも、ボランティア経験があると良いと思っています。
ボランティア	ボランティアに任せることなく、自治体でやれるようになってほしい。
ボランティア	ボランティアの貯蓄通帳を作り（点数）必要になったら、まずその点数からお願いしたい。（ゴミ出し、買い物など）年齢に関係なく、できる時にできることを！そのような仕組みがあればと思います。
ボランティア 安心	誰もが安心して暮らしていける地域。ボランティアの育成。
ボランティア	多くの方が気軽に参加できるボランティアのシステムづくり、インターネットを活用したボランティア登録、募集など、短時間でも参加可能なシステムづくり等
ボランティア	若い方がボランティアに参加し、活動してくださること。

### （自立）

自立	自分のことは自分や家族でやっていきたい。
自立	自分で動けること。
自立	正直言って、10年後は分かりませんが、自分は負けず頑張ります

自立	普通に生活をしていられる時は自分の責任で生活していきたい。本当に生きるのに困った時の支援があれば心穏やかに生活していける
自立	若い世代ばかりに負担を求めずに、誰もが自分にできることを見つけて、実行するような風土づくり。「誰かにやってほしい」という要望ばかりでなく、「自分は・・・をする」という意識を持てるように環境づくりをする。
自立	認知症予防の講習会の案内を時々見かけますが、超高齢化社会に対応する私自身も受け身ではなく、自分から進んで活動を起こさなければ心身ともに老いるばかりです。口腔ケア、ウォーキング、楽器演奏、音読、天声人語の書き写しなど、個人的にはやっておりますが、果たして自分が10年後も継続できているかどうか、自身はありません。世の中にはいろいろな考えの人がいます。心が素直でなければ、どんな催し物をして参加をしてくれません。意識改革から始めてください。
自立	自立して生活していくこと。
自立	長く自分のことは自分でできる日常が大切。そのための自己管理、それをサポートする区役所の在り方。
自立	高齢化社会の中で、自立できる福祉保健が大切だと思います。イベントや勉強会などを含めた参加できる環境をハードルを下げて、誰でも、笑顔で「ふらり」と顔が出せる場が必要だと思います。個々の人権も大切にされる時代ですが、うまく周りの付き合いを大事にできる、今が大切に思います。逆に言うと、付き合いにくい現実が今あるように思うのです。

#### (仕事)

仕事	目的、生き甲斐、ライフワークバランス
仕事	仕事も収入もない人の悩みを聞いてもらえること。
仕事	婦人の職場参加が増えるには、託児所の充実が重要。小学生、中学生の学童保育の充実と、保育時間内の延長。

### 3 「機会・場のあるまちづくり」に関連する意見

#### (環境・場)

環境	安全で安心して暮らせる地域環境を長期的に維持、向上させてゆくこと。
環境	緑区内に多い緑地の乱開発に心を痛める。例えば老人ホームは家族から近い場所に設置し、皆で行き来できる環境が大事。ミニ開発業者が必要な場所も利益の為に乱開発する行動を止められないのか。せつかく緑の多い区の名前が汚されてしまう。10年後、20年後の人口構成を含め、モデル地域として積極的に計画を推進してほしい。
環境	高齢者医療費が減り、健康寿命が延びる活動。四季の森公園など、誇りに感じる緑、自然環境をしっかり守ること。電柱のない道、美しい街並みづくりの活動（散歩したくなる街）
環境	緑、自然を大切にしていって欲しいと思います。
環境	木を植えたりして緑を増やし、夏場でも涼しい場所を作ることで、子供たちが外で積極的に遊びたくなるような緑地化。
環境	公園やスポーツ施設の整備。（増設）。住民票などの書類を、もっと簡単に取れるようになるといい。（カードを使って機械でのように）
環境	人と人とのつながりが大切だと思います。そのためには昔ながらの商店街の存在は大きいと思いますが、残念ながら長津田駅前は無機質で視覚的にもアンバランスな開発を進めてしまい、精神衛生ということを感じます。緑区には田畑や緑が残されていますので、今後はこれらを最大限に生かし（例えば無施肥無農薬の農業を推進し、オーガニックの地域を売りにしたり）、商店街を作り、または活性化させ、人々の交流を促し、建物は低層にして空がたくさん見えるようにし、街並みを美しくして、人々の心に与える影響にも配慮したり・・・。昔ながらの街では、利益率が悪いと考えられるかもしれませんが、人が集まり、また、安心安全で暮らせる街では永続的な収入が見込めます。

環境	公園の整備
環境	街が好きだと思えることが大切だと思います。道路の整備、お店の多様性、保育園などの福祉系の充実など、生活しやすい街だと、ストレスもなく、人を思いやれる心も生まれると思うから。
環境	買い物難民のために、買い物バスとか巡回マーケットとか、出かけられない老人の助けになるシステムができると助かります。スーパーなどからの配達制度でも良いが、私企業のサービスを促し、また、サポートする働きがあると良いですね。
環境	地域の人口よりも、体育館やホール数が少なく、災害があった時に避難する場所が圧倒的に少ないので心配。マンションは人が増えるのもういらぬ。公園、図書館も欲しい。(公園は小さいのがあるが、ボール遊び禁止)
環境	自給自足が始められる環境。地域の人たちと関われる環境。
環境	公園の整備、特に近隣公園。日陰を作る高い木は多く、見通し、風通しを悪くする低い木は取り払う。痴漢や暴力沙汰の起きない環境を作り、人が集まり利用しやすくする。
環境	バリアフリーの拡大。歩道の増設。
環境	障がい者がもっと住みやすい街づくり。特に鴨居駅南口周辺。
環境	ちょっとしたイベントや講演、また、日々の買い物が不便なくできるように、バス便の充実が大切だと思います。若しくは、気軽に依頼できる買い物ボランティア制度の整備が望まれると思います。
環境	緑地の保全のための適切な政策を実施すること。市街地再開発と同時に、誰でも自由に集えるような公園や集会場所を公的な機関が数多く持つこと。開発事業者に場所を提供してもらう政策が必要。
環境	色々な行事(活動に)参加するための交通アクセスの充実。特に高齢者が簡単に行き来することのできる道路整備など。
環境	区民のくつろげる公園や自然環境の維持。地域での行事、イベント。健康に対する関心を高める→病院や薬に頼り過ぎない健康的な生活。
健康	
環境	緑を広く残し、住民の憩いの場を保ちたい。
環境	住みよい街づくり。
環境	坂が多い地域なので、ひざの悪い年配の方が外出するのが億劫になっていると思う。ベビーカーも坂で押しづらい。道路を整備、無料短距離バス等、地域のすべての方が気軽に外出できたらよいと思う。

#### 4 「情報が入手しやすいまちづくり」に関連する意見

(情報)

情報	安心して暮らし続けるための情報発信。
情報 つながり	・社会的弱者(子ども、高齢者、障がい者)を支える世代に対して、情報共有を定期的にかつ詳細に行うこと。 ・地域住民に顔見知りがたくさん居るようにすること。
情報	困った時に、聞ける窓口が(手軽さ、気軽さ、わかりやすさ)安心な状態。 ・防犯パトロール。警察と自治会が連携した深夜のパトロール強化。 ・自治会班長、組長レベルで道路局のハマロードサポートと連動させて側道や道路の草取り作業→地域の横軸のつながりが広がると共に道路の除草も図れる。 ・緑区ホームページに育児・医療/治療・高齢者介護などの悩みや体験談を掲載する→様々な意見を出し交流できる場の提供になる。
情報 安心	
情報	近年「生まれて初めて体験した」「50年に1度の～」などと天災や気候条件が大きく変化しています。福祉保健に特に限ったことではありませんが、大切な情報、連絡を伝えるシステムを確立させることが重要だと思います。ライフラインが乱れた時でも対応できる組織と現場作りが理想です。
情報	メールなど、WEBの活用。
情報	情報の徹底により、区民一人一人の意識を高めること。意識が無ければ何年たっても何も起こらない(無関心)

情報	インターネット利用した次世代的な取り組みが必要と思科致します。また、役所は営業日、時間が決まっているため、24時間対応可能なプラットフォームの形式も、今後重要になってくるはずです。
情報	色々なことが実施されているようですが、現実にとりだだけの人が認知していますか？地域の活動を末端まで分かるようにしてほしい。
情報	子育て支援や介護関係など、これから誰でも課題になるであろうことの情報提供。
情報	困った時の相談窓口を区民一人一人が知っていること。
情報	何か困ったこと、相談したいことがある時、どこに連絡すれば良いか分かる様なシステムがあると安心かと思う。
情報	緑区としての支援が何があるのかわかるようにすることが大切と思います。
情報	気軽に何でも相談できる窓口がたくさんあるといいと思う。色々な面に対して。
情報	個人の悩みや問題は多様なので難しいですが、いろいろな情報提供をして頂けるとありがたいです。問題解決のヒントになるような情報が欲しいです。
情報	地域にどんどん講習や宣伝活動を実行する。
情報	現在地域とのつながりが薄いのが、今後年を取るにつれ、何らかの活動に関わっていききたいので、情報を入手しやすいようにしてほしい。
情報	区の福祉保健に関するサービスや情報は住民が探したり調べたりしなくても聞こえてくるくらい緑区の積極的な活動が必要だと思います。
情報	ニーズに合わせた情報提供。どこに問い合わせをすれば知り得るのかを分かりやすくしてほしい。
情報	必要な個人情報が必要としている人に届けられないのが現状ある。活動が制限されていないか？行政も考えてほしい。
情報	区民の福祉保健に対する意識を高めるために、情報を発信し続けることが大切だと思います。
情報	広報など、取組みを新聞などに入れ続けてほしい。必ず目に入ると思います。元気な内容希望します。
情報	今はインターネット時代だが、パソコンなどを持たない人にとっての情報の取り方を教えてほしい。
情報	情報の共有。誰でも必要な情報が入手しやすいこと。
情報	いつでも相談できる窓口があること（子ども、高齢者、その他）
情報	正直、今の時代の変化の速さを思うと、10年後の世の中のことには思い浮かばない。ただ、10年後は今以上に高齢化が進んでいることは、容易に想像できる。今でも情報の伝達が言葉や書き物からではなく、パソコン、スマホなどを見ることによって知ることになりつつある。10年後はそれが当たり前となっていると思うが、反面、言葉を交わすことや字を書くことといった生きた情報伝達が無くなり、高齢者の孤独化が助長されていく心配が・・・。
情報 つながり	各自の意識も高める。世代間の交流、情報の共有。

## 5 「安全・安心・健康」のまちづくりに関連する意見 (高齢化)

高齢化	町の住民の高齢化がますます進むと思うので、（自身は生存していない）できる限り自宅あるいは同じ地域で、最後まで暮らし続けられるような計画・活動を希望したい。
高齢化	高齢者、障害者に対する支援体制の充実。何でも手に入る商業施設（衣類、靴類、100円ショップ等）がほしい。
高齢化	高齢者支援活動・防犯対策・健康管理支援等々。
高齢化	高齢者対策
高齢化	高齢者の見守り

高齢化 安心	安全、防災、減災にとりくむまちづくり。 高齢化に対応したまちづくり。
高齢化	介護サービスやケアの充実
高齢化	高齢化社会に伴い、地域あげでの自治会・老人会等の活動の継続していくこと
高齢化	介護は金銭的、肉体的、精神的に負担が大きく、それは民間側（施設・サービスで働く人達）にとっても同じである。したがって「介護環境を充実させること」ばかり考えていては、大元の問題解決にならない。つまり、「介護を必要としない老後」が最良であり、「心身ともに健康でいられる環境を作っていく事」が大事だと思う。その1つの方法として「老後においても“社会”と接している事」が大切と考える。
高齢化	高齢者のための情報
高齢化 健康	まずは各自の健康第一、予防医療の充実。 独居老人が今後増加すると思いますが、対策として、ケアハウスの充実、特養の充実が望まれます。
高齢化	高齢者のための「生きがい」や「居場所」を見つけてあげられるような活動ができるか
高齢化	健康維持や閉じこもりをなくす為に、高齢者が気軽に集える場所の提供や企画が大切だと思う。
高齢化	自治会に加入していない老人は、区の情報が全く入ってこないと思うので、そういう人たちの把握と情報の発信が必要だと思う。
高齢化	昭和を支え、建て直した人たちに、感謝、お礼の気持ちを伝えたい。
高齢化	老人が集って積極的になれるようなところが欲しい。低料金の昼食、お茶などできる場所づくり。
高齢化	これからどんどん高齢化が進むので、お年寄りが健康で生き甲斐が持てるような社会。「時間はあるけどすることが無い」では、人間は生きていけないと思う。
高齢化	歳を重ねるごとに外出するのが億劫になる為、広報にて情報を知らせてほしいと思います。（高齢者用広報）
高齢化	いつまでも元気で過ごしたい。食事に気を付け、ヘルパーさんのお手伝いに感謝しております。
高齢化	介護保険を利用する際に、もっとわかりやすい説明が欲しい。
高齢化	一人、または二人暮らしの老人が増えるので、老人世帯の連絡網の作成と、老人の居住者マップの作成。
高齢化	高齢者への配慮
高齢化	老人福祉を頼りと思う心が問題。基本的に自己責任であり、努力していない人が人並みの生活を望むのは問題である。努力してそれでも困っているならば福祉の対象。努力しない人は強制労働もやむなし。
高齢化	超高齢化社会への対応。①災害時で、要支援者への対応（支援者と被支援者の認定）。自治会や民生委員がデータを持っていても、守秘義務やプライバシーの観点から実質機能していない。もっとオープンな仕組づくりが必要と思います。②安全な街づくり。バリアフリー化、災害時設備、用具の充実。自治会、警察、役所、民生委員等の横の連携体制づくり。
高齢化	高齢者介護施設の充実
高齢化	開発後の年月が長い団地では、高齢化がすでに進んでおり、自治会や民生委員の活動も機能不全になりつつある。また、外国の方の住民も増えている。広範な住民が少しでも顔見知りになれる機会、場を作っていくことが必要だが。
高齢化	マンションに住んでいるので、普段から住民と接する機会はあるほうですが、都会の孤独死などのニュースが報道されると、この地域ではあってほしくないと思うので、お年寄りの方への目配りは必要だと思っています。
高齢化	ある一定の年齢に達した方がいる家庭に、定期的な訪問が必要だと思います。介護サービスなどを利用しないで孤立している家庭をなくすためと、孤独死の方がいなくなればと思っています。
高齢化	高齢者（元気な）が子供、障害者、元気でない高齢者の支援をする機会が増えることが10年後も大切です。

高齡化 ボラ	ボランティア活動についての仕組みづくりと周知、広報。高齡者の活性化。高齡者の力（時間）の有効活用を！（いずれ高齡者は他の人々のお世話になるわけですから、元気なうちに世話を手伝うようにさせる）
高齡化	10年後、周りも老人ばかりになり、それぞれ大変なことになりそうです。隣同士の絆を強め、互いに助けられることは手を貸し合い、顔の見える場所づくりをしていかなければと思います。
高齡化	高齡者の在宅生活が1日でも長くできるように、訪問検診のシステムができると良いと思う（保健師による問診）。必要なら、受診、または老健の利用、デイサービスの利用などのアドバイスも。
高齡化	高齡者の一人暮らしへのサポート
高齡化	高齡者が多いので、地域のつながりが必要だと思う。
高齡化	高齡化が進むので、地域で老人などを見守る体制が必要と思う。
高齡化	独居高齡者の把握。地域での支え合い。あいさつの声が多い地域。
高齡化	今も近所には高齡者が多いが、今後も増え続けると思うので、近所づきあいや、顔見知りを作ることすごく大切だと思う。どこの家にお年寄りが住んでいるとか、一人暮らしをしているとか、近所を気にかけて生活することが大事だと思う。
高齡化	老人が家に閉じこもらずに積極的に活動できる場があると良い。
高齡化	これから益々の高齡化社会になるため、安心して自立生活ができる連携が大切に思う。（活躍できる場等の提供）
高齡化	高齡化社会
高齡化 つながり 次世代	子どもがのびのび育ち、遊べる自然、場所があること。高齡者が安全に生活できる街づくり。交流の場（お祭り、登下校時見守りなど）
高齡化 次世代	地域のつながりの維持。（高齡者が増えている）。若い方々に住んでもらえるような環境を増やして、高齡者と若い人とのバランスが適正になるようお願いしたい。
高齡化	一人暮らし老人に対する声かけ、見回り。
高齡化	一人で生活なさっている方への見守りと、何かあった時の身内への知らせ方をはっきりしておくこと。
高齡化	私は10年後は80歳。その時にはいろいろな病気になるかもしれないので、健康でいたいと思いますが、介護が充実していれば良いと思います。
高齡化	年配の方が増えてきているので、歩道の確保や段差のない道を増やしてほしい。近隣にも年を取り、足腰が弱くなってきている方（ご夫婦）がいるので、買い物など手伝いができることがあればと思う。ただ、いつも気を使ってくれるので、もっと気軽に手伝えればと思う。
高齡化	地域と言っても、年を重ねるとなかなか出たくなくなるので、本当に自分の家の近くで、例えば週に1回でも1時間くらい同じことをして、そのあと気楽に話ができる場を作してほしい。今の地域の健康づくり教室はありがたいが自分の居場所が無い気がする。
高齡化	現在元気な75歳ですので、地域の人たちと支え合って楽しく過ごしています。でも、いつまでも健康でいられるとは思いません。先のことを考えると、不安は尽きなく、これは公の範疇ではないかもしれませんが、低所得者でも安心して得られる自宅介護、老人施設への入居などが、この区に住居する限り可能だったら、どんなにいいことかと思えます。
高齡化	今後の高齡化社会に向けて、高齡者同士が活動できる場所や活動をもっと考えて広げて作ってほしい。公的支援をもっと望んでいます。介護認定を受けている人のデイサービスだけでなく、介護認定を受けていない人の行けるような場や活動があればもっと互いのつながりもでき、支え合っていける地域社会になると思います。
高齡化	高齡者対策。
高齡化	今よりも老齡化が進んでいると思うので、近所の方々との日ごろからのふれあい、話し合いなどを通して、気軽に声をかけられる生活が、いざという時に助け合える関係になる為に必要だと思います。
高齡化	老人保護、およびそのシステムづくり

高齢化	老人が健康で暮らせる環境づくり
高齢化	私ももう 86 歳になりましたので、10 年後のことなどは考えておりません。今の日々を大切に健康に気を付けて過ごしております。
高齢化	マンション（都市機構）に住んでいますが、一人暮らし、夫婦（こどもがいない）等、みなさん将来のことをとても心配しています。いずれホームに入居しないと困る方が多数です。正しいきちんとした情報が必要です。緑区、または横浜市の老人ホーム（有料でも）の冊子があると良いと思います。
高齢化	現在自分は 65 歳なので、10 年後は 75 歳になる。一番不安なのは、独り身の私が病気になった時、そばで看取ってくれる人がいてくれるかどうか。その部分を今から少しでも福祉保健に携わっている方々がアイデアを出し合い、老人（特に独り身の）の気持ち、状況になって考え、案を作成して行って欲しい。
高齢化	私の住んでいる地区も高齢化が進んでいます。車いすでも通れる歩道の整備も必要と思います。近隣の高齢者の把握も大切だと思います。
高齢化 次世代	独居老人に対する取組み、支援。支援を必要とする、高齢者への働きかけ。保育面で安定した場があり、安心して産み育てられる環境。
高齢化	高齢化に対する対策。認知症の支え合い。在宅医療に対する地域の支え合い。
高齢化	高齢者、弱者保護。
高齢化	高齢者の一人暮らしが一層増えるだろうから、その人たちのケアが最優先だが、若く独身の人こそ何も関わりが無く、知らないことが多いと思う。
高齢化	高齢者世帯が増えてきており、一人住まいの者も増加している現在、個人情報保護法を盾に出所でもそのような人々を把握できていない。各地区で把握していると思うが、逆に住人は全然わかっていない。これをどうにかできないものか。
高齢化	今以上に高齢化社会となっていくのを想定して、老人の方を支えたり見守ることも必要ですが、老人の方の活躍できる場ややりがい、生き甲斐ともなるような場も、拡大していくべきだと思います。どの世代も生き生きと生活していける社会は理想ですね。
高齢化	高齢者が生き生きと生活できる仕組みづくり
高齢化	長寿社会に対する健康増進と、安心して暮らせる街づくり。
高齢化	高齢者に情報を分かりやすく提供すること。民生委員の増員。
高齢化	リーズナブルな料金による高齢者に対する福祉の充実。
高齢化 医療	近隣に総合病院ができるのが望ましい。軽費で入所できる老人施設、グループホームができることが望ましい。
高齢化 健康	高齢者でも参加できる運動があればいいと思います。
高齢化 次世代	高齢者の一人暮らしが増えてくると思うので、近所の方たちで安否確認がすぐにできるようにしていくこと。乳幼児を安心して育てていけること。若い人たちが楽しく参加できる行事。
高齢化 つながり	地域とのつながり、また、高齢者の雇用の場の拡大。
高齢化	高齢化が進むために、より一層の福祉の充実と医療の完備が必要と感じます。ホームヘルパーの完備が重要だと思います。
高齢化	高齢化していったとしても活動しやすい体制づくりや行政の支援体制の維持。
高齢化	介護施設、介護費用の対策。
高齢化	老人が安心して暮らせる環境整備。
高齢化	一人住まい高齢者への支援（日常生活面、介護面）
高齢化	高齢化がますます進むので、日ごろからの声かけ（隣近所への）がより大切になると思います。
高齢化	高齢者の対策。
高齢化	NHK スペシャルやチョイスなどでやっていた、認知症予防のプログラムをやってほしい。バスが非常に不便なので、無料駐車場がないと行かない。しりとりなど、前頭葉を使った運動とか、デュアルタスクが効果的らしい。
高齢化	今より更に高齢者社会になるので、一人暮らしの人が増えると思います。話し相手と安否確認の声かけが大切だと思う。

高齢化	廃校になった場所を特養ホームにしたらいいと思います。最寄駅から近いですし、仕事の行帰りに会いに行けます。難病の人に優しい医療費負担をお願いいたします。特に難病でもまだ認められていない病気もあるようなので。
高齢化	将来家の中で一人暮らしになったとしても、地域の中で孤独ではないと思えるような地域との関わりが大切だと思う。
高齢化	独居老人の対策。
高齢化	10年後の緑区は、自分も含めておそらく4人に1人は高齢者になるのではないかと予想している。区民が安全に健やかに暮らしていくために、高齢者が率先して自助の力を高めていくことが大切だと思う。特に歯の手入れは健康に大きく影響するので、今以上に地域社会全体で啓発に取り組んでいただきたい。
高齢化	一人老人への対応。官民共同（連結）での管理。
高齢化	高齢者も働ける環境（やりがいがあると元気でいられるし、教わることも多いだろう）
高齢化	できるだけ自立した生活を維持できるようなサポートが必要だと思います。
高齢化	一人暮らしの高齢者と一緒に食事をする場を作る。食事を作るサービスはあっても、一緒に食べる機会はまだまだ少ないと思われる。
高齢化	地域における連携（人とのつながり）。健康づくり（年を取ると筋力をつけていかなければいけないのに、つけることができない。外出が困難になるので。）、地域で体力づくりをする必要があるのではないかと・・・。予防運動を含め。
高齢化	少子高齢化の進展から、労働力不足が懸念される。高齢者福祉は福祉サービスに限定せず、いかに元気な高齢者を創出するかが重要で、労働をすべての政策の中心にすべきと考える。
高齢化	高齢化の時代に誰もが健康で安心安全な社会であり続けるために、何が必要であるかを考えることが大切だと思います。
高齢化	高齢化社会からの脱却。
高齢化	もう少し気軽に入れる施設があったらと思います。
高齢化	近くのデイサービス。
高齢化	一人暮らしの介護施設の増設。近隣者との付き合い方など。
高齢化	少子高齢化対策。
高齢化	益々年寄りが増えていくと思うので、年寄り目線での色々なサービスや配慮をしてほしい。外へ出たい気持ちはあっても、だんだんと出られず家にこもっている人もたくさんいると思う。家族はいるが、仕事があり、迷惑をかけたくないので、在宅の人用のサービスなどがあると良いかと思うが、情報が悪用されると心配である。
高齢化	単身の高齢者が経済的にも安心して住める住宅が多くあれば良いと思います。
高齢化	緑区も当地区も、今後高齢化が急速に進むとともに、高齢者の独居世帯も急増が見込まれます。この状況の下で高齢者が安心して住み続けられるためには、地域ぐるみで、とりわけ近隣住民による日常の見守り、安否確認や災害時要援護者支援等の助け合う体制、組織づくりが区にとっても、これからも重要課題の一つとなるでしょう。
高齢化	いくつになっても「必要とされている」ことは日常生活の活力。毎日ただ家にいるのでは老化現象に加速力を与えてしまう。緑区は基本、丘が連なり、坂が多いので、出歩くだけでも疲れるが、それだけでも立派な運動、リハビリである。外出する機会、集まる場所、きっかけを作り、リズムある外出を続け、区内で健康を維持していけるプランが確立されると良いと思う。
高齢化	一人住まいになった時、地域の人が見守ってくれ、一人でも出かけてお話ができるところを作ってほしい（気軽に）
高齢化	最近老人の孤独死が近所でもあり、不安になりお互い元気ですかと電話したり、集ったりとできると良いと思います。お茶会は老人にとって何とも言えないくらい楽しいことです。ぜひ続くことを祈っています。
高齢化	年寄りが孤立しない、いつまでも、いつまでも集まれるコミュニティであること。
高齢化	自治会で地域の見守り活動など、高齢者の声かけなどが大切だと思います。
高齢化	私の住んでいる地域は特に高齢者が多く、一人暮らし、空き家が増えると思えば荒れますので、地域のつながりが大切に思います。
高齢化	介護施設の増設。介護士の増員。介護士の待遇をよくする。給料、賃金のアップ。

高齢化	介護支援の充実をお願いしたいと思います。
高齢化	老人が住みやすい街に、皆さんで助け合っていけたら良いと思います。自分自身の自立も大事だと思います。
高齢化	高齢者の増加が考えられます。これまで以上に助け合いも必要ですが、健康寿命を延ばすことに重点を置いた方が良いと思います。個人の自覚を促す取り組みを期待します。
高齢化	10年後には高齢化社会がさらに進行し、高齢者の単身生活者も増加する方向だと思うので、そういった方々が孤立無縁化しないように、地域ぐるみでつながりを持てるシステムの確立が必要です。
高齢化	高齢者対策。
高齢化	今後も地域住民の高齢化が進むと思いますので、介護予防や認知症の予防につながる活動を行い、また、続けてほしいと思います。
高齢化 つながり	10年後は今よりお年寄りが増えていると思います。一人住まいのお年寄りもすごく増えていると思います。孤独死ということも増えるかもしれません。自治会でいろいろとイベントをしたり、声を掛け合って、交流があればいいかと思います。
高齢化	高齢になっても、健康ならば働きかける環境であること。

(健康)

健康	個人の体力測定、健康チェック、気がるに参加できる所があれば。 楽しく身体を動かす場所・サークル・教室。生きがいをづくりをしたい。
健康	ますます高齢化社会になるので、体力を維持するための対策。公的と個人的の両面から。
健康	住んでいる地区では数年前から早朝ラジオ体操をやっているのですが、皆の健康維持に良いことは無論、その前後のおしゃべり、大空の下での解放感、自然のすばらしさを実感。これが生きている限り続けば良いと願っています。
健康 高齢化	まずは各自の健康第一、予防医療の充実。 独居老人が今後増加すると思いますが、対策として、ケアハウスの充実、特養の充実が望まれます。
健康	・病気にかからない体力づくり ・1日1万歩以上のウォーキング
健康	なるべく病院と薬に頼らないこと。食事に頼ること。
健康	無料検診の充実等。
健康	健康が1番
健康	地区センターの体操教室を利用しますが、10年後75歳になると遠いので、町内会館などで開催してもらえると参加しやすい。
健康	中山にあるようなスポーツセンターが、歩いて行けるところにあったらいいと思う。体力維持のために、みんなが気軽に少しでもいいから日々運動できる環境が大切だと思う。
健康 つながり	健康維持できる取組み。地域参加（交流の場、ボランティア活動など）
健康	各自が健康であることが一番大事だと思いますので、そのためには運動する場があって、いつでもできる場所が必要かなと思います。
健康	遊休農地を利用した健康づくり及び交流の場を行政が率先して作ると良いのでは。農家も助かるし、高齢者も喜ぶと思います。作った野菜を販売できたりすると、さらに良いと思います。
健康	健康年齢の上昇、孤独死の撲滅、安全な食材の提供。
健康 高齢化	高齢者でも参加できる運動があればいいと思います。
健康	歩きながらの煙草をやめさせるよう、どうしたらよいか考え、実行してほしいと思う。

健康	一人一人が健康であるための努力をし、それが無理になった時、相談でき、速やかに利用できることが理想だと思っています。（個人として）
健康	足腰が丈夫でいろいろなサークルにも出かけ、みなさんと楽しく過ごせているので、このままの状態でも過ごせたら良いです。
健康	自分が精神的にも肉体的にも健康である事。
健康	緑スポーツセンターの教室を使って、体力向上に頑張ってます。ジム系を、もう少し体に易しくできるところがあったらいいと思います。
健康	散歩
健康	特に高齢者に対する自立した生活ができるよう、健康を保持するための運動（体力面）や知識を付与して頂ける機会を少しでも多く持たせてほしいと思います。
健康	運動ができれば、外に出、身体を動かすようにしていきたい。
健康	健康。
健康	元気な人々を作る取組み。疾病予防のために良いとされる食物を推奨し、身体が改善されたことを裏づける具体的な数値を測定できる仕組みをつくる。介護保険適用外の元気なお年寄りたちの健康維持の為に集まって、簡単な体操やレクリエーションができる場を作る。家で一人でも健康維持（体力、筋力維持）できる簡単な運動方法や、ストレッチの方法をまとめたパンフの配布など。
健康	健康的な食事教育。
健康	定期的な健診と健康診断。
健康	継続できる健康プログラムがあればいいのにとおもいます。
健康	自分自身が健康である事。そうでないと、地域のこと、近所のことなどに参加するゆとりが生まれてこないと思います。
健康	適度の運動。
健康	歩く運動（毎日 8000 歩）。健康診断の働きかけ。
健康	自身の健康維持。
健康	難しいことでよくわからないが、年に1度の健康診断（レントゲン含む）を実行してほしい。私の周りで独身者が多くみられます。簡単にできる体にいいレシピの指導、忙しいお母さんには時間のある時作り置きできる栄養のある食べ物、レンジで食べられるような指導。
健康	自分自身が健康で少しでも世の中に関わること。
健康	区民の健康状態をあらかじめ把握しておき、定期的に本人へ検診への呼びかけを行う。（健康診断などで）医療費を減らすことに繋がる。生活習慣改善の啓蒙。
健康	気軽に健康診断できる環境。
健康	自己健康管理が重要だと思っています。生活も前向きに現状維持が続けられる努力が必要だと思っています。
健康	健康に関する検査、診断等も含めて無料か定額で実施できるようにしてほしい。
健康	健康である事。
健康	介護予防、健康づくり活動（体操）が大切だと思う。

#### （医療）

医療	地域医療の充実、とくに訪問診療、看護。
医療	狭い専門知識だけでなく、総合的に患者を診られる。もうけ主義に走らない、質の高い医者、待ち時間の効率的な、かつ、合理的な投薬のできる病院の設置。
医療	赤ちゃんから幼少期の成長を診て頂く、心理学カウンセラーが役所まで行かなくても地区にいてほしい。
医療 高齢化	近隣に総合病院ができるのが望ましい。軽費で入所できる老人施設、グループホームができることが望ましい。
医療	質のよい医師がいる（総合）病院の充実。
医療 安心	子どもを事件や犯罪から守る街づくり。休日診療など、緊急時に受診可能な医療機関の充実。

(安心)

安心	安全、防災、減災にとりくむまちづくり。
高齢化	高齢化に対応したまちづくり。
安心	電子機器を使わずとも、安否確認ができ、電気に頼らないよう日々を過ごす。19～20時頃、地域のパトロールか分からないですが、50～60代位の女性が3～4人で歩いていました。仕事が終わる時間がそのくらいになるのですが、パトロールらしき人がいると安心します。引っ越して約1年になりますが、嫌な経験を2度もしました。夜ではなかったので防ぐことはできなかったと思われます。ただ、パトロールのようなものがあるととても安心です。
安心	障がい者、高齢者のための理解をして、地域でも安心して暮らしていけるようになること。
安心	パトロールなど安全見守り活動を、見える（見せる）活動として行う。
安心	誰もが安全に暮らせる街づくり。
安心 ボラ	誰もが安心して暮らしていける地域。ボランティアの育成。
安心	防犯パトロール（夜間等の見回り）。交通安全運動。自転車に乗る人のマナー。歩道が狭くて危ない。車との距離もすれすれ。
安心	防犯、健康の安全。
安心	駅前など、交通量が多い場所で未だ農道時代の道の細さのところの早期の整備。高齢化が進むであろうことがすでに見えているのに、現状鴨居、中山、長津田駅前、若いものでも歩いていて怖い。日常の買い物など運動の為に歩きたくても危ない。（運転者にとってもストレス）
安心	安全安心のため、中山町の道路を整備し、お年寄りの方や体が不自由な方も生活しやすくしてほしい。バスが通る道なのに狭くて歩道もない道が、生活上通らなくてはいけない道になっている。
安心	災害があった場合の近所の人との連携、協力体制の確保、老人、子供の安全確保のための活動。
安心	誰もが安心して住める地域になること。
安心	マンネリ化にならない防犯防災活動の実施と、現在認知症の為に具体的活動について、ケアプラザを中心に実施しているが、単一自治会で引き続き行うべきと思う。福祉保健センターの取組みとしては少ない陣客の中で大変と思いますが、地域のイベントに参加すべきと思う。
安心 医療	子どもを事件や犯罪から守る街づくり。休日診療など、緊急時に受診可能な医療機関の充実。

(防災)

防災	再び大地震が近づいているらしいので、防災を重点的に考慮し、対策を練っておきたいものであると思う。
防災	防災に力を入れること。あまり宅地を狭めないでほしい。今の中山は裏に入ると細い道やがけが10メートル以上あり、通り抜けられない。今、広島のがけ崩れによる死者は他人事とは思えない。普通の住宅が安心して住める街になるよう密集を避けたい。
防災	災害に強い街、安全な街、ごみのないきれいな街づくり。
防災	地域での「つながり」のある街づくり・・・一声かけあい運動（あいさつ運動）の継続実施。安全、安心、健康の街づくり…猛暑やゲリラ豪雨など地球温暖化の影響と思われる現象が近年頻繁に起こっており、また、首都直下型地震、南関東地震の発生が懸念されることから、斜面緑地開発などについての規制や詳細な各地ごとのハザードマップの作成、住民の退避、避難方法などソフト面での充実。
防災	地域の細かいハザードマップを街中で目につきやすいところに多数設置し、地域内の意識を高める。高齢者へのサービス、健康、防災などのケアを高める。

(行政)

行政	10年先でなく現在欠けている事があります。介護・福祉に関してあまりにも上からの目線です。本当に何を一番必要としているか、してほしいかという事など、全くおきざりです。係の人が若いので、私達の年齢にならないとわからない部分があると思いますが、して欲しいサイドに立って、寄りそって考えてください。介護保険料を返して欲しい。自分たちで人を頼んだ方が良いのですから。下からの声を出して厚生省まで届くように。オシキセのワクが決まっていますからと改善する気もなく YESMAN 的です。
行政	住民ひとりひとりに対する誠実な対応。
行政	問い合わせがすぐにできる役所（どのように対処したらいいか教えてもらえるように）
行政	独居高齢者や単身者の精神疾患の方が時間外（役所の）でも相談可能な体制が必要だと思う。（近所にいるから）行政の支援は限りあるが、後期高齢者の保健師等の定期訪問とかも必要かと思う（介護保険を使わない人もいるので発見するため）
行政	このアンケートは大切だと思います。「ためになる」と思って、区が何らかの行事を開催しても、それが一人一人区民の需要を満たさないのであれば活性化はしないでしょう。そこでアンケートを取ることで区民の大まかな需要を知る、ということは、区民に対し、何らかの援助をする時に役立つのではないのでしょうか。
行政	どんな活動でも継続していくこと。活動の内容などをフィードバック、実行していくこと。例えば、このアンケートのフィードバックなどを確実にして頂きたいと思います。（アンケートを送ったところには結果も送るとか）
行政	引っ越してきてから何の広報情報等も届いていないので（前に住んでいたところは各家庭に入っていた）。日、祝以外の休みのないものにとっては、福祉保健課の意味も必要性も感じられないでいる。
行政	区役所職員の積極的介入。民間任せな部分を減らしていく。
行政	充実した制度。
行政	理想とすれば、区民一人一人に目が届き、困難を抱えた人の手助けを皆ができること。困っていることを気軽に相談に行ける役所の窓口、機関があること。
行政	いつも感じ思うのですが、区役所職員も「区民」ということです。接していると、「えっ」と感じるが多々あります。区民として参加することを願います。
行政	相談事業の拡充（誰でも気軽にどんなことでも、深いレベルでの対応ができるような耳と口と手）。三つの層での相談（①第一段階、窓口→振り分け②第二段階、分野別・a) 生涯的→①出産②育児③教育④青少年⑤就労⑥労働⑦退職（後）⑧老齢⑨死（本人及び家族）。b) 領域別→①医療②福祉（障がい者のみならず）③法律④防災⑤インフラ。第三段階、各分野、領域において専門的相談（例えば法律でいえば、相続に絞った相談）。肝心なことは、この相談事業が制度化されうるとすれば、それをどのように広く区民に伝えられるかということ。
行政	区役所の担当職員の量的・質的強化。職員を運用し成果を評価する仕組みの設計。判断力低下老人の（財産の）公的な保護を、不正行為の生ずるおそれなく執行する仕組み（の設計・実行・見通しのサイクル）
行政	行政というものはそもそも住民に対してのサービス業と考えます。従って、休日も業務を行うことを検討してください。
行政	10年後ではなく、今すぐ役所は住民に対するサービスサービス業であり、元資は税金であることを自覚し、お役所仕事を脱し、民間のよいところを取入れてサービスを向上し、特に住民に対する対するサービスであるからには、土日も開庁してもらえよう希望します。

( その他・未分類 )

	現在参加中で、今後も続けてほしい活動、外にもあれば尚よい。地域のゴルフ会。地域のマージャン会。
	地域のニーズに柔軟に対応すること
	活動のPRが大切（何をやっているのかわからない）

区計画。5つの基本があればその目標は大切だと思います。

何があるか不安な世の中、そして長生きな世の中、子育て、障害者、老人を自然な形で助けられる、手を差し伸べられる社会になれる場所、チャンスがある、作る必要性があると思います。体力づくり、トレーニングルームを無料でやれる場とか。

福祉保健の面で本当に困っている人のニーズを早く見つけ、対策を講じてやること。

おたがい様という心

現在もそうですが、自分から助けてほしいという方は少ないと思います。そのような方をどのように探し、手助けしていくか…。自分も段々いろいろなことが面倒になり、買い物も仕事に行く日、または家族に頼む、そのような状況にあります。以前は情報発信の手伝いもしていましたが、今はやる気がうせてしまい、仕方なく今も手伝っているような有様です。歳をとった時助けが必要な人を探し出すシステム（若いお母さんも）。

平等な社会

基本目標の継続

自身の10年後は分かりません。しかし10年後の為にも、1日1日を大事に生きていくことが大切なのではないでしょうか。

住民一人一人が福祉保健のことを当事者として考える機会を得るための行政の働きかけ。

定年後の男性の生きがい（目標）のサポート。

地域のイベント。みんなで里山の環境保全に参加すること。積極的に運動して、健康を維持する人にインセンティブを与える。

安全、安心、健康の街づくり。

他人への思いやり

一人一人の人権を本当に考えてなされているか、常に立ち返って進めていくことを希望しています。

人の減少などで地域が小さくなってきているように思う。現在の取組みが同じように続くことを願っています。（自分が高齢になった時）

一人一人、必要に応じた福祉保健を受けられるメニューが準備されていること

福祉保健がどのようなことか分かりにくくて、難しい感じがする。

地区全体で取り組む活動を継続して行うこと。

あれもこれもと要求せず、与えず、継続可能なことを実施。

リーダーの人柄。

市民は求めるばかりで、10年後はさらにそれが増しているような気がする。テレビや新聞は悪い情報ばかり流していないで、国自体がまとまって助け合っていくことが大切だと思う。

まさに少子高齢化にどう対応するのかの方針を明確化。

自分も老人になり、ますます老人だらけになる。健康づくり、楽しみづくり、外出手段、老人用品等、安い費用でできたらいい（しかし停滞し、活気のない社会にしないための方策が思いつかないで困っている）

福祉保健のために大切にしたい。

福祉協議会や地域ケアプラザ、他、名前は知っていても何をどうしているのか？どこにあるのかさえ知らないことに答えようもなく残念です。私のような人は福祉保健って？？多いのでは。

みんなが平等な福祉を受けられる区（区単位では無理な内容ですが）。平等とはみんなが公平に受けられるという意味ではなく、年金のような世代間扶養みたいな感じでお金があるところからもらい、ないところを補えるようになると良いと思う。今は貯蓄がある老人でも敬老パスは所得で決まるのももらっていたり、シングルマザーで正社員になれるのになると助成が受けられないとパートのままだったり、できるのにやらない人が周りにいるし、それを一律に支援していたらきりがいいから。

地域での活性化よりも、いかに個人をサポートできるか。（高齢者がこの地域はさらに多くなるのが予想されるので）。やはり近所付き合いは面倒な部分も多い。医療、介護、行政による面接のサポート。

区と区民、近隣同士の信頼関係の成立。その上で、区がリードして様々な活動を行うことだ

と思う。
本当に支援の必要な人たちがいるとき、すぐに手を差し伸べてあげる環境づくりができていくこと。
福祉保健と言われていても、日常の生活の中で具体的に何のことなのかぴんと来ない。10年後の大切と言われても、具体的にと言われていても…福祉保健ということにもっと啓蒙しなければと思う。
支援が必要な人が支援を受けやすいような組織づくり。必要な人が情報が無くて支援を求められないということが無いようにしたい。
福祉を受ける人が子ども、高齢者だけに偏ることが無く、区民一人一人平等に受けられるようにしてほしい。
10年後、生きていくかも分からないため、考えてもらえない。
10年後となると、やはり子育てと介護の問題だと思う。施設の充実と近所との支え合いが必須であると感じる。
ささえ愛プランの存在を知らなかったの、10年後にはもっと知られていて、もっと区民が活用して参加するようにできる活動をしていくのが大切なのかと思いました。
地域特性を生かした福祉活動。
誰もが参加しやすいお祭りや季節行事、イベントは大切と思います。
健康保険、赤字の解消。少子化で「入」は減少。「出」を押さえねばならない。いつか「生かす医療(誰でも)」をやめて、楽に死なす医療に踏み切らねばならない。
子どもと高齢者や障がい者への福祉保健の対応の場、施設の充実。
生活保護費が本当に必要とされるご家庭に届くこと。
弱者救済、人とのつながり。
今行っていることの継続が、そして改善することがあれば連々実行することが大切なことと思います。(区民の福祉、保健は第1だと思います)
世代を超えての活動であり、「福祉保健」を「保健福祉」と見方を変えて計画してはどうか? ~10代に少年層、20~30代に若人層、40~50代に中年層、60~70代に熟年層、80代~老年層。年代を超えて障がい者と層別をすると、年代ごとに心身の変化もあり、各世代保健活動は必要となる。保健は自主的活動であり、意味ある活動となるのではないか。10年後は老人ばかりで、福祉活動を支える人の啓蒙が今から必要ではないだろうか。
地域でのつながり、安心安全、そして健康はいつまでも続きますように。区計画、大事に進めて頂きたいと思います。
老若を問わず、その地域において、存在価値を持てるような活動施策。
日常活動しているので時間が無く、身近な地域活動では申し訳ないですが関わっていません。年齢と共に縮小しようと心がけていますので、機会ができれば関心を持っていきたい。
福祉、介護施設の拡充とその情報。
都筑区にいた時空き巣に入られたので、隣同士気を使うことを宣伝する。
サポートする側の負担を軽減すること。
「みどりのわ、ささえ愛プラン」をもっと身近なものにすること。
地域のお祭りや行事(老人、子供、ともに参加できるもの)健康チェックの活動(老人向け)。区役所などに出向くのが大変な時もあると思うので、地域ごとなど。
平和な世界でありますように。
気軽に支援を受けられる。地域での声かけ。
10年後も継続して活動していること。
10年後、自分が70代になった時、健康であることを願いますが、もっと皆が福祉の在り方、利用の仕方など分からない人もいると思うので、子を持つ若い親たちも含め、安心して住めるよう輪を広げて行って欲しいと思います。
緑(木)が大切!人と人とのつながり、老人を大切に思いやりのある人間になってほしいです。全ての人が。
お年寄りも障がいのある方も外国の方などなど、多様性を求められる時代です。もう常識にとられることなく、その人らしく、生きられること、サービスを受けやすい制度に…引きこもりや不登校支援も望みます

---

健康、安全、安心して暮らせばよいと思っています。命ある限り。

---

緑区だからこそその特色を生かしての10年後には、全国のモデルとなる「福祉保健コングロマリット」を構築ください。＜地の利と緑（自然）と区民力との融合での教育、医療、福祉の各施設連携による「福祉保健コングロマリット」の構築＞①緑（地の利）力・・・東急、JRのクロスによる横浜都心、東京都下（町田、八王子等）、全方位との交通の利便②緑（自然）力・・・四季の森公園、三保市民の森、新治市民の森、玄海田公園などの豊富な緑（自然）③緑（区民）力・・・「みどりのわ、ささえ愛プラン」推進による区民一人一人の福祉保健への理解アップと活動、組織力。既存の福祉学校、病院、福祉施設をはじめ重症障害者施設等や理学療法士等の学校等の新たな教育、福祉施設も含めたゆりかごから墓場までの教育、医療、福祉施設の一環（すべて緑区内で完結）の「福祉保健コングロマリット」の構築を願います。

---

「みどりのわ、ささえ愛プラン」が大きな柱となることを望みます。

---

「困っている人を助ける」ということは、本人と市民、そして福祉、保健などの（社会福祉士、精神保健福祉士）専門職の協働が重要だと思います。専門職、特にソーシャルワーカーの活用がなければならないと思います。

---

継続が力だと思います。

---

様々な事象も基本的に個人の努力が喫緊と考える。

---

区計画の5つの基本目標（みどりのわ基本理念）に肉付け、具体化、情報の共有（本アンケート含む）に高齢者、年少者、身障者も含む弱者の受身、排除疎外感のない、積極的参加への環境づくりへ。スピード化、活性化が必要と思う。

---

60代の人より、30代の人の方が出入り（引っ越し）は多いと思います。新しく転入したり、短期間で転出していく人を（家族を）どう取り組んでいくか。

---

更に高齢化社会でどう取り組むか。若い中高大学生との理解協力。外国人の受け入れ。

---

10年後の大切さを考える前に、今を考える工夫が欲しい。

---

つながり。

---

福祉保健が続くこと。

---

まだ年齢的に夜と土日の休みしか家にいないので、今回のアンケートのような内容は普段考えたこともないようなものですが、まずは住民が仲良く気軽に輪が作れるように、緑区独自の一体感の持てる何かがあれば、自然に支え合える関係になるのではないのでしょうか。緑区で良かったと思えるものを。

---

p7（問28 福祉保健の取組）のような取組みの継続で、住みやすい地域を保ち続けること。人手不足を補うこと。

---

## (2) 問 30 『みどりのわ・ささえ愛プラン』や緑区の福祉保健に対する意見

全回答者のうち、21.1%に記載があった。

計画に対する意見としては、「知らなかった」「周知が必要」など、計画の周知に関するものが多くなっている。また、福祉保健について、地域の生活環境について、区役所について、様々な意見が記述されている。

(複数の内容にわたる記述があり、それぞれに分類しているので、以下の意見の総数は、回答の総数には一致しない)

(計画の認知、周知について)

残念ながら今まで知る機会がありませんでした。

地域福祉保健計画をもっとみんなに知ってもらうことが大事だと思います。

何をしているのかわからないですが、地道にやってください。

本当は自分から情報収集をしないといけないところだけど、このアンケートに回答するまでちつとも存在をわかっていませんでした。告知が大事だけど、拡げていく良い方法はないか？難しいところだと思います。

存在を知りませんでした。今後は活動の広報にも注力されたらいかがでしょうか。

- ・地域福祉としての活動が目に見えない
- ・住んで、あまり福祉活動の実態が把握できない
- ・もっと活動の宣伝をやってもらいたい
- ・ああ福祉活動が行われているなどといったことが感じられるようにしてほしい。

具体的にどんな活動をしているのかよくわからないので、区報に載せるなど、具体的に何をしているか、何をしようとしているのかを知る機会があるべきだと思います。

5つの基本目標は、今回のアンケートで理解できましたが、具体的に何をやっているのかが見えない。もっと皆が知ることができるように、回覧など回すと良いと思います。

今回ホームページを見て、「黄色いバンダナ」の存在を知りました。もっと周知を徹底したほうが良いと思います。

地域のボランティア活動について、情報が無い。自分が少しでも力になれることがあればと思っているが、情報が一部にしか伝わっていない。

講演会や講座には(参加者は)一部の人のみ。もっと情報を広める、周知できる工夫、興味を引く工夫が必要だと思います。

区民になかなか知られていません。様々な機会でアピールしてほしいです。

このアンケートが来るまで、計画の存在すら知りませんでした。区民全員に伝えることが無ければ意味はないと思います。周りに知っている人は一人もいません。私の住んでいる長津田地域では、人も車も増え、昔とは様子が変わってきました。ただ「住みやすい」「ずっと住んでいたい」という町であることは変わりません。緑区をより良い区にするためにも、良い計画だと感じました。ぜひ多くの人に伝えて頂きたいと思います。

情報が少ない

今回初めて地域福祉保健計画という言葉を知りました。まだどういうものなのか詳しく知りません。区民への情報発信をもっと強化して頂けると良いのではないのでしょうか？

お互いに支え合うプラン、知りませんでした。これからは特に必要なことと思いますが、今はお手伝いできません。すみません。

ピーアールが少ない

地域福祉保健計画と言っても、回覧板すら来ないので、情報が入手できないので、全然わかりません。

今回初めて「みどりのわ・ささえ愛プラン」を知りましたので、関心を持って生活したいと思いました。

このような計画をしている行政のことを知らなかったです。行政に疎い自分を改めて感じました。「誰もが安心して・・・」の基本理念は、すばらしいと思います。うちも地域でも高齢者が増えていけるようなので、健康な元気な高齢者になって頂いたらいいなと思います。イベントでも誰もが参加しやすい風土になるといいなと思っています。

緑区に移り住み4年になりますが、このような保健計画があるとは知りませんでした。中年世代はなかなか福祉保健に関わることが少ないため、幅広い活動の提供の情報の発信を期待します。

「みどりのわ、ささえ愛プラン」のことは初めて知りました。一人住まいになって「遠くの親戚より近くの他人」という言葉を身に染みて感じています。自分から積極的に隣近所と仲良くお付き合いしていきたいと思っています。

「みどりのわ、ささえ愛プラン」は初めて知りました。本当に何もかも勉強不足でした。反省させられました。高齢者でも、自分のことはできて、79歳の主人も助けて、負けずに1日1日を過ごしてゆきたいと思っています。こちらこそ、ありがとうございました。

まず知らせることから出発。知らなければ行動せず。

私自身、知らないことがいっぱいありました。少しずつでも勉強していきたいと思っています。携わって下っている皆様ご苦労様です。

福祉保健の情報はほとんど知らなかったの、知らせる機会を増やしたほうが良い。

そういったプランが存在すること自体知らなかった。チラシや広告などでもっと認知させる必要があるのでは？

これからこの機会をとらえて、十分UPの方向で勉強し、関心を持って生活していきます。

認知度が低すぎる。知らない人が多いと思われる。

情報が少なく、そのような計画があることも知らなかった。もっといろいろな手段を活用して、周知する必要がある。

計画を施策しても、住民には浸透していかないと思います。計画や区の行政から「緑区を本当に良くしたい」という気概は感じられませんし、住民も人任せで自ら考え、行動している人は少数です。愛着心が薄いようで、緑区がその特色を打ち出せず、自慢できる街ではないということなのかもしれません。緑区は横浜市の他の区や隣の町田市と比べると、いろいろな面で遅れているという声をよく聞きますが、私は目指すところがちょっと違うのではないかと感じます（緑区にふさわしくない）。埼玉県小川町のように「有機農業の町」づくりをしたり、東京の下町のように商店街を大切にしたり、長野県のどこかの町のように「医療に係るお金が日本一少ない」を目指したり、65歳以上の人や障害者がたくさん働ける街にしたり、緑区にもっとあった目標があるように思います。

緑区に引越をして間がないため、いろいろな情報を把握し参加できることがあれば参加させていただきたいと思っています。

周知。

活動内容が区民に知られていないと思います。広報等の活動に励んでください。

あまり意識をしたことが無く過ごしておりました。広報誌など、ゆっくり目を通すようにしたいと思っています。

どんな活動をしているのか情報が得られる場が少ないため。イベントや地域新聞などによる活動アピールをしてほしい。その中で、地域の人々が助け合うことや、どんな活動をしていけるのか考えていけるようになると良いと思います。

このような活動があることをケアプラザで働くようになって知った。知っている人はかなり少ないと思う。知っている人たちの中で持ち回りの印象が強い。

日中、仕事で自宅にいないことが多いためなのか、自分が疎いのか、地域福祉保健計画など知らずにいました。もっと目のつくところに宣伝をして頂けると、気付き、身近にも感じるができると思います。

分かりやすい説明が掲示されることが必要と思います。

地域福祉保健計画（平成23～27年度）のこと、年度計画のこと、実施状況のこと、問題点、新たな課題など、なお一層区民一人一人に浸透するよう、各地区に出向き説明する機会も必要なのでは。

まだまだ一般地域住民に浸透していないことは問題がある。計画などについて抽象的なことでなく、住民にとって具体的な、かつ取り組みやすいように努めるべき。

3年近く住んでいるが何をしているか知らない。もっと知る機会の場所があったりしてもいいのでは。

緑区で主体的に福祉保健活動を行っている、アレンジしていることに敬意を表するとともに、すばらしいと思っています。

誰もが情報にアクセスできること。

団体、委員等の活動内容や、委員募集方法等情報が入ってこない。

担当者の本気度が伝わってくるようなPR、情報提供をお願いします。形式的、事務的な通り一遍の内容はいりません。

名前さえ分からなかった。情報をもっと発信すべき。

活動の報告ではなく、今後の予定を中心にネットを利用した情報提供のシステム強化。

具体的にどのようなことを行っているのか分からない。インターネットで調べても詳しい内容が把握できない。

初めて知った「みどりのわ、ささえ愛プラン」なので、答えは出ません。もっと勉強してからにします。

区民の誰も（特に高齢者）が「みどりのわ、ささえ愛プラン」をよく知ること。

今回アンケートをいただき、自分が今何をできるか、考えるいい機会だったと思います。普段から挨拶は大切にしています。子供たちにも日ごろそう教えています。知らない人でも何度か挨拶していると、顔見知りになり、笑顔で接するようになれるのもうれしい日々の中の出来事です。

今まであまり目にしてなかったですが、これから自治会の掲示板や図書館内の掲示板を通して密接なつながりを持ちたいと思います。

「みどりのわ、ささえ愛プラン」の名前すら知りませんでした。もっとPRしたほうが良いと思います。

特に知らなかったなので、もっと情報を広めていったほうが良いと思いました。

福祉保健が具体的にどのような活動をしているか分かりません。日ごろ、何らかの恩恵を受けているのだと思いますが、それらを区の福祉保健のおかげである、または担当であると考えたことが無いので、もし意見があるとしても伝える先が分かりません。ですので、「緑区の福祉保健のために」と上記のアンケートでどういった事柄が福祉保健に該当するのか、何ができるのかが分かりません。

どんなことをやっているか、知ろうと努力するようにしたいと思います。

メルマガなどネットの配信があれば使用してみたい。（紙媒体はあまり見ないし、現在の小学校の親などのスマホ普及率を考慮すると、積極的に取り入れたほうが良いと思う）年配の人向けの印象が強く残念に思う。料理教室に参加したとき、自分より年上の人ばかりだった。

第2期の内、23～25年はすでに経過しているが、この期間の計画案と、その実施状況が示されていない。今後の具体的な計画案が示されていない。

知りませんでした。今後は当該計画に注視していきます。

こちらが関心を持たなければ届いてこない。

この冊子が来るまで、緑区がそのような取り組みを行っていることは知りませんでした。

ホームページがとても不親切。必要な情報が入手しにくい。

私の勉強不足なのかもしれませんが、いまいち内容が見えないので、区民への周知に努めてほしい。

自分の地域のことは全く知らない。回覧板なども情報がたくさん（いらぬものもたくさん）あり、最近読んでいないことに気が付きました。果たしてほかの方はどれくらい読んでいるのかしら。

正直、緑区で実施している福祉保健計画の内容は知りません。地区社協と区の福祉保健課は別の計画ではなく、同じ統一された計画の下、実施されていることと思いますが、緑区では、できる限り協力できるところは協力して、地域に貢献できればと考えています。ただ、今は子育てでいっぱいなので、もう少し先になりそうです。

同じ情報とか広報などは、繰り返し期間を経て行くことであり、認識、確認されることと思いますので、今後もよろしくご検討ください。

今回このアンケートで初めて「みどりのわ、ささえ愛プラン」を知りました。

今後は意識を持って地域での活動を知りたい。

みどりのわ、ささえ愛プランは不勉強でよく知りません。多くの方が私と同様だと思います。日々の生活の中でこのプランが密接に関わっているものでなければ、市民の中に浸透することは難しいと思います。

緑区の福祉保健に関しては詳しいことが分かりません。方法がありましたらお願いします。

計画案が一般住民になかなか届かないような気がします。

このような活動があることは全く知りませんでした。「みどりのわ、ささえ愛プラン」も分かりにくく、聞いたこともない。「みどりのわ」だけの方が覚えやすく感じます。

「みどりのわ、ささえ愛プラン」を初めて知りました。せっかくイベントや取り組みをやっているも、それが周知されなければあまり意味がない。横浜市や区のHPの上部にそのバーナーを大きく表示すると良いと思う。民間の検索エンジンやHPで広告として、3秒くらいで表示が変わるやつで表示してはどうか。

こういったアンケートが来なければ知らなかったことが多い。もっとおせっかいなくらいにボランティアやその他の活動に関し、区民全員が知る機会を情報として流すべきではないか。

広報などで具体的な実績や評価等関心のある人々には伝わるようにすべき。個人的には全く伝わってくる感じがしない。

若者に触れる機会があまりないような気がします。

初めて知りました。今後も、地域生活を豊かにするべく、発展することを願います。

今のところよくわからない。

知らなかったのでもっとわかる、知ることができるように情報を出してほしいです。

「みどりのわ、ささえ愛プラン」の活動内容は全く知りませんでした。より一層の「PR」が必要でしょう。(無関心すぎました)

「みどりのわ、ささえ愛プラン」等区民に内容、仕事などを知らせて協力する気持ちを持たせる。

正直、自治体との関わりがほとんどない。高齢者や子供がいないと、収集する必要のある情報が無い。

認知度が低いと思う。若い人たちも興味を持ってもらうための方法が必要ではないか。

私もこのアンケート用紙を受け取る前はこのプランを知りませんでしたので、PRが必要だと思います。

地域のことにあまりにも無関心だった。このアンケートを機に、もっと地域のことに興味を持ち、老後まで緑区で暮らしていきたい。

せっかくの計画や活動なのに、一部の人にしか知られていない感がある。一般の方々にも身近で利用しやすい(利用したいと思わせる)活動にできたらいいなと思います。

今まではあまり感じる事が無かったのですが、身近な問題として勉強していきたいと思います。

貴団体の活動内容を区民にもっとアピールし、参加協力しやすい環境を作ると良いと思います。特に30~40代が興味を持って活動に加わるような企画を期待します。

これまで全く知らないプランだったので、日ごろから福祉の意識をもっと高めて、その内容を理解していかなければならないと思いました。

緑区の計画「みどりのわ、ささえ愛プラン」があることさえも知らなかったです。もっと区民一人一人に知ってもらうような方法を考えてほしいです。

初めて知ったので、今のところ特になし。

住民の気持をくんでいただく機会をお与えいただき誠にありがとうございます。プランについてはよく知りませんでした。知るいいきっかけになりました。ありがとうございます。

存在を知らない人が多いのでは？

・ネーミングがよくわからない。何について伝えたいのか？ ・「地域」とか「福祉」とか同じような名前が多すぎ ・今すぐできることはすぐやるべき

福祉保健活動は、画一的、統一的に行うのではなく、理想は個々人のニーズにあった活動と思います。個々人に対するきめ細かな対応、活動が重要と思います。10年後を見すえた活動計画をお願いいたします。

他の自治体も同じ悩みでいると思うので、他のを参考にしてやるのもいいかも（成功している事例があるはず）地方は年齢の高い地区もあるので。

福祉政策は必ず計画に反対する者が出てくる。従って長期プランが重要であり、その場しのぎの一過性の政策は危険。誰もが納得する、反対があっても長期プランで納得してもらうことが大切。

新しい取り組みを検討するときは、まず現状の把握と、そこで浮かんできた問題点を潰していくことを考えてほしいと思います。その取り組みにすでに取り組んでいる団体との連携とか。組織だけがたくさん増えても意味はないと思います。公共施設等の窓口、利用者の連絡会や調整会議などは、なるべく土曜日や祝日、夜間に設定して頂きたい。会社勤めをしていると参加できず、非常に困っています。色々な受け口を公共性のある活動には求めます。

福祉保健の幅を広く薄くしないで、本当に必要なところに集中してほしい。

興味ある人が参加し、協力すれば良いと思う。今の年寄りばかり優遇してはいけないのでは？

ささえ愛ならば、一人一人の老人人口を知り、行動していくしかないと思います。他人他人の話を聞く耳を持ち、コツコツと地道にやっていくのが、市民からもやってくれているという目に映るはず。まずは、お手本になって、少しずつ少しずつ身近な問題から、気づき、改善して頂きたいです。

安全、健康の面では、中山駅前の喫煙所をなくしてほしいとずっと思っている。妊娠中から不快で、喫煙者で道がふさがり通りにくい。子供の多い地域で健康を目指す割には、駅前で真逆の場所があることが納得できない。

老人問題（介護）と同じくらい、子育てで苦勞している若い両親を地域で感じることがあります。子育てのストレスから、夜には子育て中の親の叱る大声や、子供の泣く声などが聞こえてくることが多いです。問題が起こる前に、健全な親子関係の学びの場所をささえ愛プランの中に入れて頂ければありがたいと思います。

民間の意見をもっと取り入れて柔軟な対応をしてほしい。

押し付けがましい活動には反対なので「みどりのわ、ささえ愛プラン」の計画も対象者に押し付けることなく、むしろ気持ちにさせておくくらいのおおらかな計画を実行して頂きたいをお願いします。役所やケアプラザ等の方々は一生涯懸命やってくれていると思う。市民の心がけややる気などが無いのが現実だと思う。あまり支援しすぎると、市民はだんだん当たり前と思い、ありがたみを感じなくなってしまう。「支え合う」というのはお互い様とのことだが、「公的機関の人がやるべき」という一方的なものになっていることは心配だ。

防犯、防災も計画に位置付けるのでしょうか？であれば、もしもの時の対策や日ごろの備えなどについて、もっと周知してもらえればと思います。

アンケートの文面から見て、地域福祉保健課の方々がいかに心配りをしているか、ありがたいと思います。ただ、高齢者には難しい文面にすると、理解できませんので、昔日のように、隣組の交流ができればいいと思います。現在の隣組は回覧板だけ回して（ポストの中）しまっているだけ……。隣組がしっかりいれば自然に地域福祉での活動も理解できるのではないかと思います。アンケート以外のことを申し上げてごめんなさい。

問29と同じ。【以下、問29より転記】緑区だからこそその特色を生かしての10年後には、全国のモデルとなる「福祉保健コングロマリット」を構築ください。＜地の利と緑（自然）と区民力との融合での教育、医療、福祉の各施設連携による「福祉保健コングロマリット」の構築＞①緑（地の利）力・・・東急、JRのクロスによる横浜都心、東京都下（町田、八王子等）、全方位との交通の利便②緑（自然）力・・・四季の森公園、三保市民の森、新治市民の森、玄海田公園などの豊富な緑（自然）③緑（区民）力・・・「みどりのわ、ささえ愛プラン」推進による区民一人一人の福祉保健への理解アップと活動、組織力。既存の福祉学校、病院、福祉施設をはじめ重症障害者施設等や理学療法士等の学校等の新たな教育、福祉施設も含めたゆりかごから墓場までの教育、医療、福祉施設の一環（すべて緑区内で完結）の「福祉保健コングロマリット」の構築を願います。

私は、福祉=公的扶助、扶助=助け合いだと思います。従って、「福祉」というと、生活弱者へ手を差し伸べる活動というイメージがついて回ります。もともとの「助け合い」の精神は、日ごろから顔見知りで心が交っている関係の助け合いなら、感激も大きいし、喜びも大きい。しかし、緑区民の20人中19人は元々よそから来た住民とのことですので、おのずから他人意識が一般的です。「みどりのわ、ささえ愛プラン」というスローガンはいいが、昔の「向こう三軒両隣」も精神を、今育んでいくことの方が、これからの福祉行政を進めるうえで大切ではないだろうかと思っています。

(町内会、自治会加入率向上こそが、福祉社会への近道だと思います。被利用者(?) 該当者(?) 宅の町内会または自治会加入率又は加入意識の調査をしてみたいかでしょうか。その前に、各町内ごとの加入率を押さえて、現状把握と将来予測をしてみるのも一考ですね。弱者の救済も大切ですが、なぜ弱者になったのか、どうして弱者が生まれてきているのか、弱者を減らす仕掛けや制度をどう作っていくかを考えることがもっと大切ではないでしょうか。これからますます増えます。知恵と汗と時間が必要ですね。

いまいち情報をどこで入手していいのかわからない。

みどりのわ、ささえ愛プラン、緑区の保健に対して意見があれば良い。

防災、防犯、高齢化、育児…様々な対応が必要とされる中、このような取り組みがあることは良いことで、さらに今後期待したい。

「みどりのわ、ささえ愛プラン」における地域別計画を基にした地域での活動が活発になってきていると感じています。特に防災に対しての具体的な取り組みは支援を必要とする立場の方々にとって、大変心強いものだと思います。通勤や通学のため地域を離れる時間が長い方たちにも、この計画が自分たちの家族や住まい、地域を守る為でもあるということを発信して、皆さんの理解と関心を深めて頂けたらと願います。

基本目標達成のための具体的な施策、計画案の作成、進捗のチェック、住民への周知。

みどりのわ、ささえ愛プランも第2期に入り、区計画、地区別計画とも、課題や目標はかなり明確になってきていると思います。この広範な計画を着実に推進し、期中に極力具体化していくことが今必要なことでしょう。

日ごろのみどりのわ、ささえ愛プランに期待しております。

推進されている方々に感謝します。

常に実態に合わせたことを行ってほしい。計画などに変更中止もスムーズに！

## 1 「つながりのあるまちづくり」に関連する意見

(つながり)

つながり 一部の方達だけでなく、子どもからシニアと幅広い世代の交流も必要かな？それで子育てで悩んでいる人達とか介護で悩んでいる人達が問題解決しなくても、話する事で気持ちが軽くなればよいと思う。

つながり 地域の隣人との声かけ。

つながり 私は子供がいません。でも愛犬を飼っています。愛犬と散歩すると皆が声をかけてくれ、引っ越してきた当初、知り合いのいない、人も歩いてない、寂しい街が、心優しい人がたくさんいるよい町だと今では思っています。愛犬にも優しい緑区、愛犬家の人々も愛犬を通して役に立てることを考えていって欲しいです。

つながり 子どもと高齢者とのつながり。気軽に参加できるおしゃべりサロン、歌の会、200~300円程度でできるレジャー、ペットを介したつながり、パトロールなどの場を広げて頂きたいと思います。

つながり 地域でのつながりと言っても、自治会役員などの任期中は全うしますが、その後の活動となると、ほとんどの方が参加しません。それは割り当てで押し付けられたりする場合が多いからです。自分から進んでやれる人は、健康である、金銭的にも不自由をしていない、時間がる様な方ばかりです。ひがみ、意固地な態度をとっているような相手に対して、いかに心を開いてもらえるか？笑顔を大切であるとは言いますが、強要はダメです。何事も自分から進んでやろうという意思がないと、手を差し伸べても無理なのではないか？みんな

	なが相手の立場になって考え行動する社会なら、犯罪は起きたりしません。自分だけ良ければいいという人が多いのですね。
つながり	NHK の番組などから、無縁社会がいけないことと言われるようになってきた。なぜ？人はストレスの大元。少なからず人々もそう思うところがあったので、徐々にこのような人付き合いの希薄な世の中になってきたんだと思う。私は今一人で暮らせてすごく幸せ。誰もが多勢でワイワイが好きなわけではない。一生懸命目をそらしているのに、無理やり挨拶してじろじろと見るのはやめてほしい。まさに監視。
つながり	隣近所と関わりを持つようにしていますが、相手方からは不審がられることも多くあります。今の時代だからかなのか、仕方ないとは思いますが、地方の地域のようなつながりを持ってればと感じます。
つながり	人間としての思いやりやこの世に生かされているという気持ちが大事なことと思います。昔のように隣近所との関係を築くためには、教育が大切であると思います。現在は、高等教育を受けている割には、未熟者が多いような気がします。自己中心に行動する者をなくし、地域で育てていくことが大事で、スタートできることと思います。

#### (次世代)

次世代	地域子育て支援体制の充実。 「汽車ポッポ公園」のような緑の多い憩える場所（公園あるいは遊歩道）があればよいと思う。（長津田にはこのような場所が少ない）
次世代	動物の命も人間と同じ大切なこの世に1つしかないという事を徹底的に子どもたちにも教育を行ってほしい！！
次世代	子育て世代の中には、片親家庭もいらっしゃいます。生活ギリギリ（または生活保護）で、満足に食事ができずにいる方もいるかと思います。「フードバンク」というのもTVで拝見しました。緑区内で「フードバンク」を立ち上げてもらえないでしょうか。子供たちの安否確認、片親の生活安定情報提供。貧困から脱することも大事な事です。
次世代	緑区は子育て支援が少し少ないと感じます。母子体操教室やリトミック、就学前の子が遊べる場の整備をして頂けたら、他市や地区と変わらずに参加できる機会が増えると思います。
次世代	赤ちゃん教室で、同じ位の月齢の子どもやお母さんと知り合えたので、心強かったです。
次世代	子ども（未就園児）や若い世代の母親向けヨガなどの体操教室などが少なすぎる。私の住んでいる地域は特にない！未就園児などは毎週あってもいいと思う（近隣ケアプラザのように週1ぐらいあるとよい）。すべて高齢者向けでケアプラザも全く活気が無い！
次世代	行政、自治会、学校、家庭、地域の連携など、青少年健全育成と非行防止へ町ぐるみの取り組みが必要。保護司の世話になる前の段階での対応、強化が必要と思う。

#### (担い手)

担い手	お世話役の献身的な活動に経緯を表し、感謝している。但し自分ではなかなかできない。人それぞれ、仕方がないが。お世話役やリーダーを積極的に区が養成または発掘する工夫が必要か。
担い手	下々の役員として多少手伝わさせていただきましたが、上の役員の熱心さ、優しさには感謝するのみです。
担い手	各家庭のSOSの時、相談できる窓口があるのになかなか探せない現状もあるようです。こんな時は地域の誰かが近くに来て相談できたりする、「この人に相談を・・・」と呼びかけてくれると、子育てや介護の時助かる。
担い手	活動が盛んになるほど自治会の班長になった時の負担が増えそうです。気軽に自治会に参加できる、そして行事にも参加しやすいようになるといいのですが・・・。
担い手	何かの協力に対して、ポイント制にして、困った時使えるシステムでお互いに助け合う。お金じゃなく、そうすることで気軽にためたり、やれたりしたら自然な気持ちで、お互いを思いやれるようになるきっかけとなるのでは。

担い手	シニアボランティアポイントなど、先輩の人たちがボランティアに参加しやすい取組みがあるが、もっと若者の参加を促すことも必要だと思う。私は、20代でボランティアなどに参加したいと思うが、どんなボランティアがあるのかなどの情報がもっとほしい。
担い手	日ごろ感じていること。積極的に自治会に加入し、助け合いの心を持ってほしいです。
担い手	本当に様々な地域の活動に積極的に参加しているみなさん、それから関わり合いに感謝するとともに大切に思います。自治会の役員になるまでは分かりませんでしたが、とても大切であり、これからもずっと関わり合いながら生活していきたいと思います。何かできることを見つけて、積極的に取り組んでいきたいと思います。
担い手	孫の子育ての様子を見てみると、昔より福祉保健の方々からの声かけやサポートがあり、「新米ママ」はとても助かっているようです。特に一人で初めての子どもを世話していくのはかなり大変なので、頼りにしている方も多いのではと感じます。これからももっと多くの子どもが元気に育ちますように・・・と思います。そして、多くの子どもが元気に育ちますように・・・と思います。日本の若返りのために。
担い手	自分の知らないところでも、働いてくださる方がいらっしゃることにとっても感謝しています。
担い手	自治会参加者は地元民かサークル、学校のママ友が活動しているが、地域参加の活動になると良いと思っています。緑区は他からの参入住民が多いので、PRが必要と思います。
担い手	高齢化により年の方が多いため、福祉保健活動にもっと若い世代の人たちの参加も促すのはいかがでしょうか。(年寄りの方にも、若さを維持するため、積極的に参加してほしい)
担い手	健康上の問題もあり、参加できませんが、活動に協力してくださっている方には感謝いたします。社会のたくさんの方々を支えられて現実の生活があることを一人一人が自覚して生きていくことが地域福祉の向上につながると思います。
担い手	様々な組織があるが、リーダーには個性より温かい人が必要。
担い手	福祉保健に関してですが、無償ボランティアの方々だけでは支援人員や活動内容に限界があるように感じます。これからは交通費の支給やささやかな報酬などが出る、有償ボランティアを増やしていただくと、より柔軟な活動ができるのではと思います。
担い手	時々ボランティア等の募集など回覧板で見ますが、なかなか日々の生活に追われて、この先も地域のために活動することなど難しいと思います。今の60、70代の方々が登下校の見回りをされていて助かっておりますが、私たちの年ごろには生活には、ゆとりもなく、今回のプランの基本理念がぴんと来ないです。
担い手	霧が丘ケアプラザを活用していますが、スタッフの方たちが明るく利用しやすいです。が、入り口がちょっと暗いので、もう少し明るい雰囲気になるといいです。
担い手	ボランティア活動が盛んでよいことですので、この活動が続きますように願います。
担い手	シルバーの人材を生かした仕事をどんどん増やしていただきたいと思います。日数や時間など少なくとも良いので。人生に張り合いができ、いきいきと暮らせます。

#### (地域での取組)

取組	中山町はささえあいカードやバンダナ、リボンなど活動がよいと思う。
取組	中山自治会の「無事です」の玄関先に下がっていた。地域の輪を感じました。
取組	黄色いリボンの使い方が自治会ごとに違うのはどうか。例、黄色いリボン→助けが必要。黄色いリボン→助け不要、安全です。

#### 2 「ひとりひとりの力が発揮できるまちづくり」に関連する意見

(この分類に該当する意見は無し)

#### 3 「機会・場のあるまちづくり」に関連する意見

(この分類に該当する意見は無し)

#### 4 「情報が入手しやすいまちづくり」に関連する意見

(情報)

情報	緑区に親しい知人も少なく、永住の予定もなく、広く地域と関わることには不安（不特定多数と知り合って引っ越した後、個人情報が多く残っても、私ができる範囲で知ることができなくなりそうです）。また、常に在宅しているわけでもないので、災害や防犯についてはメールなどで知ることができると安心です。将来、病気や親を引き取り介護となった時に備えるなら、こちらから知りたい情報に、知りたいときにアクセスしやすいと助かります。（緑区の情報にアクセスしにくいのは難しいので）
情報	医療関係の仕事をしていて、病気や介護、経済的に困っていても、地域に相談し支援を求めることができることを知らない方が多いと思います。そのような方々には、情報を得る方法を知らない、特に持たない人もいます。地域や区の実情を住民一人一人に知ってもらうことは難しいのかもしれませんが、大きな課題かと思えます。
情報	自治会での回覧について。目は通していますが、毎回特別必要な内容には感じられず、単に回す作業となっているように思います。至急の内容は掲示板でよく、日中不在にする家も多いので、今の状況を見直してみても良いのではないのでしょうか。
情報	回覧板での大きな文字、分かりやすい内容などでのお知らせ
情報	同上【以下、問 29 より転記】理想とすれば、区民一人一人に目が届き、困難を抱えた人の手助けを皆ができること。困っていることを気軽に相談に行ける役所の窓口、機関があること。
情報	地域のつながりの活性化を図る広報の政策及び充実。
情報	若い人に情報が届くように、SNSや動画を利用すると良いと思います。
情報	高齢者の通院補助サービスなどの情報、各種ボランティア活動（例えば精神障碍者の更生、社会復帰の補助）の情報が少ない。

#### 5 「安全・安心・健康」のまちづくりに関連する意見

((支援などの) 対象者)

対象	老人、子供には手厚い福祉になっていると感じています。でも、20代～50代までの福祉サービスは何かあるのでしょうか？全く知りません。市民皆にお願いします。
対象	世の中には、社会生活が不器用で、落ちこぼれている者がいると思われれます。（数は少ないと思いますが）。その様な者の目に留まる様な配慮をお願いします。
対象	最近地域でボランティアの方が主になっての「お茶飲み会」の集まりが良く目に留まりますが、一部の方たちだけの集まりのような気がします。ではどうしたらよいか私自身も解決の方法は分かりません。
対象	一般の子どもや高齢者に関しては年々支援が充実してきていることが感じられますが、障害者に関しては薄い気がします。特に聴覚障害者に関しては引きこもりになりやすく、また、高齢になればなるほど難聴者が増えていくのは明らかなのに、その交流の場はありません。他県では「手話=言語」という法律が認められ、一般の間にも手話は浸透してきていますが、せっかく覚えても交流する場所が無いという声をよく耳にします。昔から精神障害者支援のためのレストランは見かけますが、手話カフェが一つくらいあっても良いのではないかと日ごろから思っています。
対象	見守り、声かけはしてほしい人としてほしくない人がいると思う。老人だから、一人世帯だからとかいうくくりではなく、意思をはっきりさせた方が、支援する側もやりやすいと思う。両方嫌な思いをしなくて済む。
対象	介護保険が、身体は元気で認知症の人にももっと使えるようにしてほしい。寝たきりよりも悲劇である。公的老人ホームももっと欲しい。金持ちしか入れない。
対象	貧困家庭を把握して、孤独死(特に若い人の)など、防がなければならない。
対象	福祉は高齢者にだけではダメであり、偏りがある。子供の安全への活動。
対象	難病者の会があってもいいのではないか。（病名別でもいい）。ケアプラザや地区センターの内容をもう少し詳しく知りたい。

対象	支えを必要としている人にはさらに積極的に、それを拒む、否定する人には少しでも理解してもらえるように、繋がる社会にできればいいと思います。
----	--

(防災)

防災	中山中学校や小学校に行く前に、逃げ場の広場がもっと老人には必要と思う。
----	-------------------------------------

(健康)

健康	検尿や血液検査など、病院へ行くほどかな…と思っているときに、自覚できる身近な検査巡回がほしい。
----	---

(高齢者)

高齢者	将来寝たきりにならないための体操教室等を年齢を限定せず、誰もが参加できるようにしてほしい。
高齢者	これからお世話になる年齢になりましたが、自分が年を取って初めて感じるものが（福祉保健の活動の認識）多くなりました。活動を若い人たちに知って頂くことがいいかと・・・
高齢者	老人が受ける詐欺事件が多発している折、その予防策、警察との連携等、考慮してほしい。
高齢者	親世代（65～70歳）の健康について。気軽に利用できる健康診断などをやって頂けるとありがたいです。（やっているのに知らないだけでしたら申し訳ありません）
高齢者	福祉の充実化。お年寄りを敬う心。
高齢者	一人暮らしの方が2・3日見えない時など、知らせても積極的に訪問してもらいたい。1・2度行ったが答えが無かったでは済まないと思います。
高齢者	一人暮らしの老人など周りとの交流が無いので、気が付かないことが多いため、よそから情報が入った場合、すぐ対応して頂きたい。
高齢者	誰でも必ず身のまわりのことさえ不自由になってしまう時が来るのは避けられない。収入が少ない人でも、必要なサービスが受けられるようであつたらいいと思う。
高齢者	本当に支え合いはできるのか？月2回介護老人をショートステイに出しているが、自身の生活の中でこれが50パーセント以上を占めているので、支え合いがあるとは思わない。
高齢者	介護認定を受けていない高齢者の現状をチェックするシステムを取れたらよいと思う。自分で手続きができない高齢者もいると思う。一人暮らしの年寄りも多いのでは？
高齢者	高齢者体操を地区センターで、シニア大学に参加させて頂いております。とても良い時間を送っており、今後も続けられるよう、健康には留意したいと思います。緑公会堂における講演会などにも参加しております。
高齢者	高齢者が健康でありたいと思う気持ちを実践できる場の提供や、そのための情報を知らせていただければと思います。
高齢者	一人暮らしをしているお年寄りの方のケアはどのようになっているか知りたいです（取組みや頻度など）。
高齢者	老人のいる家を見守ってあげる。分からないことは教える、教えてくれるときはどこに聞けばよいか、区役所で良いのでしょうか。今は老人ホームに入っているのですが、外部のことは何もわからない（災害時の時のことなど、不安がるが聞くこともできない）

区域での生活全般

(地域の生活環境)

環境	駅前や道（歩きながら）でタバコを吸っている人がとても多い。小さい子供に危険であるばかりではなく、たばこの吸い殻もよく落ちている。非常に不愉快。区として対策をして頂きたい。とても臭いので。
環境	長津田駅に大型スーパーが一軒しかないため、不便です。憩いの場が欲しい。入場料は、有料でも子供から高齢者が利用できる。多目的室があれば良いと思う。

環境	バイクなど盗難、いたづらをなくし、中学生、高校生の非行がなくなる社会。近所に緑はあるが、自宅から駅まで木々を伐採され、真夏は影が無くなって、買い物の往復が辛い。高齢者が日陰で休める場所を作ってあげてほしい。坂道の登りは本当に辛そうにされている方を見て感じる。また、歩行者優先にしてもらいたい。自転車も歩行にしてほしい。スピードを出して下ってくる自転車は脅威に感じる。小さな子供たちが安心して歩ける歩道にしてもらいたい。
環境	公園も木や花の手入れがされておらず、伸び放題。植え方も広い通りから目が行き届かないくらいぐちゃぐちゃに植えてあるので、きちんと市で手入れをしてほしい。(草むしりやゴミ拾いは自治会でやっています) 杉山原公園。
環境	緑区は長津田小近くか、中山のあたりは良いと思うが、みなみ台の近くには公的な福祉施設が全くない気がします。現在、若い人が多いためだと思われませんが、今後、みなみ台は近くをどのようにするのか、関心があります。
環境	長津田駅北口側がきれいに整備されました。できれば緑の植物を植えたりして、癒される場所であるといいです。
環境	今回初めて「みどりのわ、ささえ愛プラン」を知りました。地域の方の健康のために運動できるところ、ジムみたいなどころ、プールが安く利用できたらいいと思います。以前いた港北区はプールやジムが充実していたのに、緑区(鴨居)は全然なくて残念です。あと、大きな公園もなく悲しいです。子供と長時間遊べるような戸外の遊具がたくさんある公園が欲しい。

(区に対して)

区	緑区の場合、中山エリアや鴨居エリアともに道路が狭い/歩道が無いか狭いといった状況が改善されていません。 駅前再整備や都市計画道路整備といった最も身近なハード面の整備を進めてください。常に交通災害や踏切事故の危険性が伴う社会では高齢者、障害者にとって生活しづらいのが実情です。緑区の防災/減災にもっとも求められるのはハードの整備です。それが体感できる先10年にしてください。
区	日ごろ活動していませんので言いづらいですが、区主催のもので、きめ細やかさが足りないと感じるものも過去いくつかあったように思います。本当に必要な人が参加できる体制になっているか? 人数合わせに走ることも。ボランティア側としても、図書券を頂いたりして、これではボランティアでないなと思ったこともありました。そのうち、そんな習慣にも慣れてしまっ・・・。現在はどうか知りません。
区	障害者手帳を交付されている方や、交付に至らないが相談されたり悩んだりされている方が多いと思います。知人に助けを求めたり、逆に助ける側も、どう声かけしたらいいかわからないため、区の方でしっかりサポートしてもらいたいと思います。
区	区役所職員の介入を積極的に行ってほしい。
区	地区別で年齢別の人が何人くらいいるか、(70~100歳くらいまで)自治体を通して知りたい。人数だけでいいです。声かけが必要な時に重要かと思います。
区	横浜市や区が実行するイベントは常に分かりにくく、不満が多い。利用者、市民のために実施するよりも、市や区のために実施しているように思えてならない。改善を要望します。
区	窓口は悩みを親身に聞いてくれない。自分の担当じゃないとかいろいろ言われる。だから相談に行きたくなくなる。
区	家族の病気で役所に相談したいことが山ほどあるが、福祉保健課の窓口が奥まっついて入りづらい雰囲気があり、相談できなかった。情報を知りえる人(公務員の方など)はうまい具合に福祉を利用しているが、どこに相談していいかわからない人がいることも知ってほしいです。

区	子どもの検診で問診の時、保健婦さんのお話ホッとすることもありましたが、逆に不快に感じることも何回かありました。緊張で答えられない子供へのきつめの態度……。第2子出産後に上の子の検診で不安や赤ちゃん返りの話をすると「突然現れたから当然」と言われ、少し納得いきませんでした。他の区の友人は「旦那が浮気相手を連れてきて今日から同居しますと言われたのと同じ」と表現されたそうです。それくらいのショックだというのは分かりますが、産後不安な母親には、大変悲しく、怒りも感じます。心の支えになる保健婦さんにも出会っていますが、そうでない方も多く思います。そういう点を改めて考えて頂けたらと、この機会に書かせてもらいます。
区	住んでいる地区では地域が利用できる公共施設がありません。働きかけをお願いします。
区	市の協力体制が無いと続かない（自治会任せにしない）。
区	保健師さんたちの忙しいこと、人数が増やせないのですか？コンシェルジュさんもよろしくをお願いします。赤ちゃんから大人まで、穴の開かない支援、繋がっている支援、理想でしょうか？
区	ベビーカーでの外出が多いのですが、道端の雑草が生い茂って道をふさいでしまっているところが多く散見されます。草がちょうど子供の目あたりに伸びていて危ないところもあります。事故を防ぐためにも道端の草は除いていただきたいです。出産後、家事育児が大変で乳腺炎になったりと、わらにもすがる思いで区役所にTELしたことがあります。お話を聞いてもらえるだけでも気分転換になったかとも思います。その時の対応者の方の個性だったのかもしれませんが、とにかく聞いて寄り添う、その方の立場になって考えてみるという対応が、区役所員だけでなく、地域住民一人一人が自然にできる街づくりができれば、温かい真心にあふれた町が今後も続いていくのではないかと考えます。

(その他)

	とてもきめ細やかな活動をされていると感じております。
	細やかな助けがとてもありがたいです。何事もパッパと片すのでなくゆっくりと考えながら手伝っていただけるととてもよいと思います。
	もう少し回数を増やしていただけると……。ムリでしょうね。
	横浜で一番よい地域を目指してください。
	病気になった時、歩けない時など、短期にお手伝い頂けるところがあると有難いと常に思っております。例えば、風邪をひいたときなどの食料の買い出しなど。
	前の通りで結構。【以下、問 29 を転記】いい地区なので住みやすい。霧が丘は好きです。人がいい地域です。親しみやすい人が多い、優しさがある。
	自助努力を促す。
	空き巣や不審者などの情報を伝えてほしい。場所などが知れば近くの人たちも気を付けるし、ご近所同士で支え合ったりできると思う。
	地域のために色々和努力されておられること、大変感謝して多ります。当家は 83 歳 2 人暮らしなので、何かとお世話になります。
	介護支援の充実。
	私は現在テレビと読書で 1 日を過ごしている。いわば「自助」中心の生活である。人生の先行きは長くはないが、孤独な状況にならないように心がけたい。
	よくやって下さっています。住民がもっと協力的になることを望みます。
	バランスを持って人と接して下さることをお願いします。
	活動に対しての理解と協力。
	以前家族の介護が必要だったとき、行政に相談に行っても、なかなか思わしくなく、家族だけで苦しかった。介護は多くの人の手があると、介護される側もする側も楽になると思う。高齢化が進むこれからは、地域で助け合えるような仕組みが充実すると良いと思う。
	地域での健康づくり、ウォーキング活動。
	手続きが大変なので簡単にしてほしい。
	十人十色、百人百色で高齢者のライフスタイルも人それぞれです。従い、十把一絡げな対応

---

は要注意と考えます。

---

公的なことは平日活動を中心に考えられていて、昼間は東京方面や横浜の外へ出ている住民に対しての機会があまりないのではと思います。勉強不足でいろいろあると言われそうですが、普段普通に生活している私にはそう思えます。

---

関係者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。自立できる老人になる為の工夫、実践が、今一番大事なこととなりました。72歳の老人です。

---

座談会のような気軽に意見交換ができる場があれば良いなと思うことがあります。

---

個人情報被害の為、近所づきあいが希薄になっています。社会情報として、共有することが大切だと思います。「みどりのわ、ささえ愛プラン」は、よくわかりませんが、神奈川区にフルタイムで働いている娘と孫がおり、週2, 3日通っています。その近所版かな？と考えています。孫の手が離れたら、協力できそうです。

---

4年前に八王子のみなみ野より移りました。八王子は南大沢にシニアのためのいろいろ健康や趣味の場所があり、週2回通っていました。緑区ではそんな場所があるのでしょうか。

---

助けることも大切だが、自立することが一番だと思うので、まずそれをもっと促進するにはどうしたらよいかをもっと考えていけたらいいと思う。

---

平日は忙しいので、休日に人が集まりコミュニケーションが取れる機会を増やす。また、そういうところへいけない人にも何か工夫して活動していく。

---